

タイトル	保育・保育労働をめぐる問題（２）
著者	川村，雅則
引用	季刊北海学園大学経済論集，58(4)：225-293
発行日	2011-03-31

《研究ノート》

保育・保育労働をめぐる問題（II）

川 村 雅 則

はじめに

2010年に実施した保育・保育労働に関する調査結果のうち、本稿では、保育士を対象としたアンケート調査の結果をまとめた¹。

調査研究の問題意識や調査の概要等の詳細は川村（2010 a）を参照いただきたい。ここでは簡潔にまとめておく。

すなわち、「子どもの貧困」「孤育て」などの言葉に象徴されるとおり、子どもの育ちや子育てをめぐる環境が悪化する中で、保育関係者（保育士、保育園）の果たす役割に期待が集まっている。新保育所保育指針もそのことを強調する。

だが、その中心的役割を担うはずの保育士の働く環境・労働条件は、例えば政府統計等でみても、他産業のそれと比べ低い水準にとどまっている。職員の配置基準や施設の面積等の最低基準（「児童福祉施設最低基準」）は、戦後長らく改善されぬままに現在に至る。つまり、期待に応える環境は彼らに提供されていないのである。むしろ、都市部では、待機児童の解消を目的に定員の規制緩和が実施されて、子どもが詰め込まれ、現場にはゆとりがないといえよう。

さて、そうした中で政府は、子どもの良質な生育環境の保障や子育て支援を目的に掲げ、「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」なるものを持ち出してきた。それに対して関係者は、保育の市場化・営利化を図るものだとして反対を表明している。

いま求められているのは、子どもや親の状態、そして、私たちの関心事である、保育士の労働実態を出発点として、制度改善の議論をおこすことだと思われる。

以上が今回の調査の問題意識である。

次に、調査の概要については、道内 834 カ所の認可保育園（保育所ではなく、一般的に使われている保育園という呼称を使う。また以下では、「認可」は省略して、単に保育園と呼ぶ）に、保育士を対象としたアンケート調査 10 部ずつを送り、保育士に配布していただいた。

回収された調査票のうち有効回答は 2455 部（人）である。

資料として、以下のものを掲載した。

資料 1：保育士アンケート自由記述

資料 2：同、集計結果一覧表

資料 3：同、調査票

なお第一に、以下の分析では、不明は除いて計算しているので、設問によって分母が必ずしも一致しない。第二に、今回の調査とほぼ同時期に行った、特別養護老人ホーム（以下、特養）で働く介護労働者を対象とする調査結果の幾つかを、参考までに掲載した（厳

¹ 保育園（園長）を対象としたアンケート調査の結果はすでに川村（2010 a）にまとめている。研究の問題意識や調査の概要などはこちらを参照されたい。

表1 運営主体別・雇用形態別にみた回答者数

単位：人，％

	全体	運営主体別			
		公営 (市町村営)	社会福祉法人	学校法人	その他
合計	2453	819	1511	69	27
正職員	1560	497	983	50	17
フルタイム型の非正規職員	791	292	463	16	6
パートタイム型の非正規職員	102	30	65	3	4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
正職員	63.6	60.7	65.1	72.5	63.0
フルタイム型の非正規職員	32.2	35.7	30.6	23.2	22.2
パートタイム型の非正規職員	4.2	3.7	4.3	4.3	14.8
合計	100.0	33.4	61.6	2.8	1.1
正職員	100.0	31.9	63.0	3.2	1.1
フルタイム型の非正規職員	100.0	36.9	58.5	2.0	0.8
パートタイム型の非正規職員	100.0	29.4	63.7	2.9	3.9

密な意味での比較データではない)。

I. 調査の結果

1. 回答者(保育士)の属性等

まず、2455人のうちほぼ全員(2381人、97.0%)が女性である。

表1は、回答者の雇用形態と、彼らが働く保育園の運営主体をクロスさせてみたものである。

第一に、社会福祉法人が運営する保育園で働くものが全体の6割強を占め、残りは、市町村運営の保育園が3分の1、そして、学校法人(2.8%)、その他(1.1%)である。以下では、川村(2010a)と同様に、回答者数の多い、社会福祉法人運営(以下「私営」)あるいは市町村運営(以下「公営」)で働く保育士の結果を中心にみていく。但し、表中の「全体」には全ての回答者が含まれている。

第二に、全体の6割強が正規雇用で、フルタイム型の非正規が3割強、残り(4.2%)がパートタイム型の非正規である。以下では、回答者数の多い、正規とフルタイム型非正規

(表中ではフル非正規と略)を中心にみていく。

次の表2にうつる。第一に、回答者の年齢は、「公営」の正規雇用を除き、相対的に若い年齢層が多い。全体のうち6割強が40歳未満(20、30歳代)である。とりわけ「私営」で働くもので、なおかつそのうち非正規では、その割合が大きい。「私営」の非正規では、6割が20歳代である。

第二に、b. 勤続年数²やc. 就労年数についてみる。特徴的なのは、「公営」の正規雇用における勤続年数の長さである。現在の保育園に限っても、「20年以上」が4割強を占めている。働き続けられる環境が整備されていることを示唆する結果だ。それに対して同じ正規でも「私営」におけるその割合は約

² 現在の雇用形態での年数に限るものではない。つまり、例えば、結婚や出産(その後に復職)で正規から非正規雇用に転換したもの、あるいはその逆に、非正規で働いていたが正規雇用に転換することができたケースなど、正規と非正規の合計勤続年数である。

表2 運営主体・雇用形態別にみた、回答者の年齢、現在の保育園での勤続年数、他の保育園等での経験も含む就労経験年数

単位：人，％

		全体		公営・雇用形態別				私営・雇用形態別			
		2447	100.0	正規		フル非正規		正規		フル非正規	
				494	100.0	291	100.0	981	100.0	462	100.0
a. 年齢	20 歳代	880	36.0	63	12.8	101	34.7	373	38.0	276	59.7
	30 歳代	646	26.4	124	25.1	75	25.8	315	32.1	79	17.1
	40 歳代	548	22.4	131	26.5	67	23.0	212	21.6	70	15.2
	50 歳代	361	14.8	176	35.6	47	16.2	78	8.0	35	7.6
	60 歳以上	12	0.5			1	0.3	3	0.3	2	0.4
	(再掲) 40 歳未満		62.4		37.9		60.5		70.1		76.8
		2450	100.0	495	100.0	291	100.0	982	100.0	462	100.0
b. 現在の 保育園で の勤続年 数	1 年未満	244	10.0	19	3.8	51	17.5	26	2.6	104	22.5
	～ 3 年未満	373	15.2	40	8.1	64	22.0	77	7.8	124	26.8
	～ 5 年未満	345	14.1	31	6.3	48	16.5	142	14.5	93	20.1
	～10 年未満	522	21.3	59	11.9	55	18.9	294	29.9	81	17.5
	～15 年未満	325	13.3	61	12.3	32	11.0	177	18.0	37	8.0
	～20 年未満	211	8.6	64	12.9	16	5.5	110	11.2	13	2.8
	20 年以上	430	17.6	221	44.6	25	8.6	156	15.9	10	2.2
		2450	100.0	495	100.0	291	100.0	982	100.0	462	100.0
c. 他の保 育園等で の経験も 含む就労 経験年数	1 年未満	89	3.6	4	0.8	11	3.8	8	0.8	51	11.0
	～ 3 年未満	225	9.2	12	2.4	31	10.7	46	4.7	91	19.7
	～ 5 年未満	259	10.6	18	3.6	37	12.7	102	10.4	80	17.3
	～10 年未満	558	22.8	52	10.5	77	26.5	275	28.0	113	24.5
	～15 年未満	408	16.7	62	12.5	53	18.2	201	20.5	54	11.7
	～20 年未満	307	12.5	70	14.1	35	12.0	136	13.8	41	8.9
	20 年以上	604	24.7	277	56.0	47	16.2	214	21.8	32	6.9

注1：「全体」には学校法人あるいはその他の運営主体が運営している保育園で働く保育士も含む（以下、同様）。

注2：bとcの「1年未満」内のより細かな区分（内訳）は資料を参照。

16%にとどまる。また、非正規では勤続年数の短さが特徴である。

2. 仕事や労働条件等に関する満足度

保育士を対象とした各種の調査の結果をみると、この仕事に就いた動機としては、子どもが好きだから、やりがいがある仕事だから、小さいころからの憧れだったから、などが高い割合でみられる。では、実際にいま働いていて、仕事や労働条件等に関してどの程度満足しているだろうか、尋ねてみた（表3、表4）。

具体的には、7つの項目（表中のア～キ）それぞれについて、「満足」「やや満足」「普通」「やや不満足」「不満足」を選択しても

らった。まず表3は、各項目について「満足」から「不満足」までの結果と、満足計（満足＋やや満足）から不満足計（不満足＋やや不満足）を引いた値（DI）をまとめたものであり、次の表4は、DIのみを運営主体別・雇用形態別にみたものである。表中の▲はマイナスを示している。なお、特養で働く介護労働者の結果も参考までに掲載した（表5）。但し一部の回答選択肢の文言は一致していない。

さて、特徴の第一は（表3）、ア. 仕事の内容・やりがいに関する満足度の高さである（満足度DIで59.5。以下、同様）。介護労働者の満足度の中でも唯一プラスの値を示していた項目だが、彼らのそれ（8.3）と比べて

n=2422	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	満足度 DI
ア. 仕事の内容・やりがい	33.3	33.2	26.5	5.4	1.6	59.5
イ. 賃金	10.6	13.5	27.2	28.0	20.8	▲ 24.6
ウ. 労働時間・休日等の勤務体制	14.5	15.5	36.9	23.0	10.1	▲ 3.1
エ. 職員の配置状況	12.8	13.2	38.1	24.6	11.4	▲ 10.0
オ. 研修や教育訓練・能力開発のあり方	13.6	17.5	51.4	13.5	4.0	13.7
カ. 職場の人間関係，コミュニケーション	19.5	25.9	37.5	11.8	5.2	28.3
キ. 職業生活全体	13.6	23.2	46.7	13.7	2.8	20.4

注：満足度 DI = (満足 + やや満足) - (やや不満足 + 不満足) で算出。

	公営・雇用形態別		私営・雇用形態別	
	正規 n=486	フル非正規 n=288	正規 n=976	フル非正規 n=457
ア. 仕事の内容・やりがい	60.1	51.4	62.7	55.1
イ. 賃金	9.7	▲ 41.0	▲ 34.1	▲ 46.4
ウ. 労働時間・休日等の勤務体制	4.1	17.7	▲ 17.9	▲ 3.5
エ. 職員の配置状況	▲ 31.5	▲ 2.8	▲ 11.1	1.3
オ. 研修や教育訓練・能力開発のあり方	▲ 3.3	▲ 1.7	22.6	20.1
カ. 職場の人間関係，コミュニケーション	17.5	20.5	31.4	35.0
キ. 職業生活全体	18.1	13.2	19.4	21.7

	全体 n=843	雇用形態別	
		正規 n=520	非正規 n=323
ア. 仕事の内容・やりがい	8.3	2.3	18.0
イ. 賃金	▲ 37.2	▲ 36.3	▲ 38.7
ウ. 労働時間・休日等の労働条件	▲ 27.3	▲ 38.1	▲ 9.9
エ. 勤務・人員体制	▲ 58.6	▲ 65.6	▲ 47.4
オ. 人事評価・処遇のあり方	▲ 38.8	▲ 44.6	▲ 29.4
カ. 職場の人間関係，コミュニケーション	▲ 6.5	▲ 13.8	5.3
キ. 教育訓練・能力開発，研修機会など	▲ 11.7	▲ 16.7	▲ 3.7

注：川村（2010 b）より作成。非正規にはフルタイム型とパートタイム型が含まれている。

も、はるかに高い値を示している。表に戻って、雇用形態別にみても同様で、正規に比べるとやや低下するとはいえ、非正規の保育士でも、ア. 仕事内容・やりがいに関する満足度は高い。

次に満足度が高いのは、カ. 職場の人間関

係である（28.3）。但し「公営」と「私営」ではやや差があり、後者で満足度がより高い（表4）。逆を言えば、「公営」で低いのはなぜなのか。「公営」の場合、正規と非正規の処遇の格差が著しい（後述）ことなどが反映しているのだろうか。今後の調査課題である。

さて、逆に満足度が最も低いのは、イ。賃金である（▲24.6）。「公営」の正規だけはプラスの値（9.7）を示しているが、同じ正規でも「私営」では▲34.1という低い値にとどまっている。なお、非正規においては、「公営」「私営」とともにさらに値は低い（▲41.0、▲46.4）。

賃金に次いで低いのが、エ。職員の配置状況に関する満足度である。正規の保育士で不満足が多く、とりわけ「公営」の正規では▲31.5である（「私営」の正規では▲11.1）。ここには、人員配置基準が時代にあわない低い水準であるところに加えて、この間の定員の規制緩和で子どもがさらに詰め込まれていることなどが反映していると考えられよう。「公営」職場の満足度の低さについては、予算削減で人員配置が困難であることや保育士の年齢の高さなどが反映されているのではないか。

なお回答選択肢が異なるものもあるので厳密な比較ではないが、保育士と比べた際、介護職の満足度（表5）の全般的な低さが特徴的である、つまり、介護現場のよりしんどい状況が示唆されるのである。

【103】①子どもの定員はほぼ満度にいるので、保育士の数も十分ですが、子ども達に十分にかかわるためには人手不足です（障害児がいるので）。勤務のローテーション、仕事分担も（人手不足で）その分1人にかかる負担が大きいように思います。②大変やりがいのある仕事で、子ども達とかかわれる事はとても幸せです。自分の仕事に誇りもあります。でも、仕事としては、この仕事量、責任の大きさを考えればもう少し金銭面等で優遇されてもいいと思います。自分の事も含め、質の向上等、もっと必要だとも思います。研修会や勉強する機会も必要ですね。それに参加できる環境も必要です。女性／

40歳代／私・正

【165】①家での持ち帰りの仕事で、行事になるとぐんと増えるが、残業手当がないことや、保育士として専門職ということで研修などにも参加し、各自で能力UPの為に勉強なども行っているにもかかわらず社会的地位が低いのが不満である。やりがいのある仕事であり、頭や体力も相当使っている。これから保育士として能力のある人がこの賃金で残っていくのか心配です。女性／30歳代／私・正

【194】②保育士という仕事は、“やりがい”はすごくあるが、想像以上に体力を要する仕事、そして保育指針の改定により書類等も増え、壁画作りや毎日の製作、行事の準備など、毎日仕事に追われ忙しい。その割に給料も安く、不満も出てくるが、今でも5年と続けられているのは子どものおかげです。子どもに元気づけられ、力をもらうことで毎日なんとか頑張っています。あとは、園長先生・保護者からの信頼を得ることですね。女性／20歳代／私・正

3. 非正規雇用を中心にみられる低い年収

さて、上記の満足度DIで最も値が低かった保育士の年収（税込み）はどのくらいなのか、表6にまとめてみた。但し年収は保育園アンケートでもすでにみているので、ここでは確認にとどめる³。

³ 保育園アンケートでも保育士アンケートでも年収（税込み）を尋ねたが、前者の結果に比べると、後者の結果において、回答された年収は全体的に低い。なお同様のことは、川村（2010b）の介護労働者調査でもみられた。使用者は人件費全体を意識してやや高めに、あるいは逆に、労働者は手取りを意識してやや低めに、回答される傾向があるのだろうか。

表6 運営主体別・雇用形態別にみた2009年の年収(税込み)

単位:人, %

	全体		公営・雇用形態別				私営・雇用形態別			
			正規		フル非正規		正規		フル非正規	
	2040	100.0	436	100.0	217	100.0	887	100.0	338	100.0
200万円未満	588	28.8	21	4.8	159	73.3	100	11.3	211	62.4
～250万円未満	344	16.9	14	3.2	29	13.4	184	20.7	86	25.4
～300万円未満	250	12.3	38	8.7	8	3.7	171	19.3	21	6.2
～350万円未満	270	13.2	48	11.0	6	2.8	198	22.3	9	2.7
～400万円未満	191	9.4	49	11.2	4	1.8	126	14.2	7	2.1
400万円以上	397	19.5	266	61.0	11	5.1	108	12.2	4	1.2
(再掲)300万円未満		57.9		16.7		90.3		51.3		94.1

表6のとおり、正規も非正規もひっくりめめた全体でみると、年収300万円未満は全体の6割弱である。

これを運営主体別・雇用形態別にわけてみると、「公営」の正規では、300万円未満はわずか16.7%にまで低下する。それに対して、フルタイム型の非正規では「公営」「私営」問わずその値は90%に達している。200万円未満に限定しても、「公営」では全体の4分の3が、私営では6割強が、それぞれあてはまる。そして、正規であっても、「私営」の保育士は半数が300万円未満となっている。

ところで、次の表7は、現在の保育園での勤続年数(≒年齢)別に低所得者(200万円未満と300万円未満)の割合をまとめたものである。勤続年数が増えるに従って低所得者の割合は解消されているだろうか。保育園の運営主体別・雇用形態別にわけてまとめた。なお、勤続年数は、現在の雇用形態での勤続年数を示すものでは必ずしもない(注釈2を参照)。

例数が少ない群もあるが、結果は、非正規雇用においては——とりわけ「公営」では——年数が増えても低所得者の減少幅が小さい。言い換えれば、昇給幅が小さいあるいは昇給そのものがないことが示唆される。

【384】①子どもの人生の土台を作る大事な仕事なのにどうして社会的地位がこん

なにも低いのか？そして責任があるのに賃金が安すぎる!!これでは続けられません。②事務時間30分というのがあるが、実際はそれが休憩時間となっている。家に仕事を持ち帰る事も多く、その他仕事もあり、毎日はいんどい,,このままの現状で続けられるか心配です。そして賃金も低く、長く続ける気が起きません。男性/30歳代/私・正

【456】①以前働いていた保育園では正職という事もあり、きっちりとしていた。そこでは、パートさんに対してもきっちり・しっかりとした保障があったが、結婚を機に辞めざるを得なくなり、子どもを出産後、現在の保育所に入ったが、保障は全くついていなく、かろうじて社会保険等がついたが、有休はなく、生活も苦しい。離婚している為、仕事を探さなくてはならなくなり、正職での職は全くなかった。今も職探しをしているが、年々親の対応も難しくなり、ノイローゼ気味になることが多い。②正職になっても月給の低さに驚き、年々、下がっています。労働時間も増え、子どもの関わる時間もなく、自分の時間もなく、とても困っています。パートでは、これから生活していくのは難しい時期になり、悩んでいます。もっと良い環境が作っていただけるよう上の人にも訴えたが、同僚は辞

表7 運営主体別・雇用形態別・現在の保育園での勤続年数別にみた
低所得者の割合（女性のみ）

単位：％

			1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20年以上
公 営	正規		n=32	n=28	n=45	n=51	n=51	n=207
		200万円未満	18.8	17.9	8.9	3.9	3.9	0.5
		300万円未満	43.8	42.9	33.3	21.6	13.7	3.9
	フル非正規		n=53	n=42	n=53	n=26	n=15	n=23
		200万円未満	84.9	78.6	84.9	88.5	26.7	26.1
		300万円未満	94.3	95.2	96.2	96.2	73.3	69.6
私 営	正規		n=66	n=127	n=257	n=159	n=103	n=148
		200万円未満	42.4	26.8	12.1	1.3	1.0	2.0
		300万円未満	92.4	84.3	69.3	34.6	20.4	14.2
	フル非正規		n=113	n=82	n=77	n=35	n=12	n=10
		200万円未満	81.4	56.1	62.3	42.9	16.7	0.0
		300万円未満	100.0	98.8	96.1	85.7	83.3	10.0

注：「300万円未満」には「200万円未満」も含む。

めさせられ、すごく不安です。女性／30
歳代／私・フル

【560】①保育士は子どもの命をあずかっていて、大切な年齢期間と一緒に過ごす重要なポジションなのに、社会的地位が低く軽視されがち、幼稚園や教師と比べて、基本的に賃金が低い。他の一般企業とも差があり、社会的地位も賃金も低いこの社会に不満がある。先進国なのに福祉が低すぎて、不安ばかり。この様な社会だと、これから自分が結婚、出産をした後に、仕事を続けてゆけるのか？不安になる。今の仕事量で子育てをするのは大変だと思う。仕事、家庭、育児のバランスをとるのは、職場の協力が無いと難しい。保育の仕事が好きでも、賃金が低いと生活に支障がでる。その点に関しては今の職場は恵まれていると思う。

②もともと体力がないので、家に帰ってから一度、仮眠をとらないと動けない。

女性／30歳代／私・正

4. 人手不足の保育現場

賃金について満足度が低かったのが職員の配置状況だった（表3）。

繰り返すとおり、保育園では、職員の配置基準や施設の面積等の最低基準が定められているが、その基準は諸外国と比べても著しく低い水準で、長期にわたって改善されずにきた。子どもや保護者を取りまく環境の変化など、今日における保育の困難状況、あるいは、新指針にみられるような保育所の役割強化ということを考えるならば、そうした制度の見直しが本来的には必要ではないか。

さて、まずは、保育士の目を通して見た、子どもや保護者をめぐる状況（子育てや子育ての困難状況）についてまとめたのが表8だ。保育園アンケートでも同様のことを尋ねているので、参考までにその結果をのせた。もう一枚の表9は、運営主体別・雇用形態別に結果をまとめたものだ。

結果は、まず、いずれの項目についても、園や保護者の全体状況について把握している園長職に比べると訴え（認識）がやや低いことがあげられる。

とはいえ、子どもについては、キ、特別な

表8 子どもや保護者にみられる困難状況 単位：人／園，％

	全体		(参考) 保育園調査	
	2441	100.0	310	100.0
ア. 養育困難な保護者が増えている	1021	41.8	195	62.9
イ. 保護者の間に就労不安定・低所得という問題がみられる	715	29.3	216	69.7
ウ. 一人親世帯が増えている	1355	55.5	229	73.9
エ. 子どもの貧困の問題が生じている	135	5.5	53	17.1
オ. 育児不安や育児ストレスに悩む保護者が増えている	1114	45.6	184	59.4
カ. 虐待・ネグレクトのケース（疑わしいケースも含む）が増えている	563	23.1	114	36.8
キ. アレルギー児・障がい児など特別のケアが必要な子どもが増えている	1792	73.4	252	81.3

注：保育園調査の結果は川村（2010 a）より。

表9 運営主体別・雇用形態別にみた、子どもや保護者の困難状況 単位：人，％

	公営・雇用形態別				私営・雇用形態別			
	正規 492	100.0	フル非正規 289	100.0	正規 981	100.0	フル非正規 462	100.0
ア. 養育困難な保護者が増えている	270	54.9	100	34.6	420	42.8	167	36.1
イ. 保護者の間に就労不安定・低所得という問題がみられる	180	36.6	72	24.9	286	29.2	126	27.3
ウ. 一人親世帯が増えている	278	56.5	147	50.9	547	55.8	269	58.2
エ. 子どもの貧困の問題が生じている	45	9.1	7	2.4	53	5.4	24	5.2
オ. 育児不安や育児ストレスに悩む保護者が増えている	235	47.8	114	39.4	500	51.0	204	44.2
カ. 虐待・ネグレクトのケース（疑わしいケースも含む）が増えている	152	30.9	51	17.6	233	23.8	88	19.0
キ. アレルギー児・障がい児など特別のケアが必要な子どもが増えている	393	79.9	215	74.4	730	74.4	317	68.6

ケアが必要な子どもが増えていることを全体の4分の3（73.4％）が感じている。発達の気になる子のほか、子育て環境の変化を背景に、特別なケアが必要な子どもが増えていることが自由記述にも散見される。

また保護者については、ウ. 一人親世帯の増（55.5％）、オ. 育児不安や育児ストレス（45.6％）、ア. 養育困難な保護者の増（41.8％）などが高い割合で認識されている。

なお以上のような認識は、正規の保育士で多くみられる。背景には、年齢や経験年数の違い、つまり、正規保育士にはより年齢が高く保育の経験も長いものが多いことのほか、

正規の場合には、クラス担任など、子どもや保護者に対してより責任ある立場にあることなどが影響していると思われる（もっとも、非正規でも責任ある立場におかれるケースは増えているようだ）。

いずれにせよ、子育てや子育ての困難・現代的な問題が関係者の目を通して確認される。手厚い人員配置のほか、一人ひとりの保育士に対する十分な研修機会あるいは専門機関との連携なども必要になってくるだろう。ただ実際には、条件整備がされないため現場の負担が増して、保護者との対立関係が生じてもいるようだ。

【221】①子どもの育ちを集団の中でとらえにくい保護者が年々ふえているように思う。仕事をしているので、大変といって子どもに向かい合おうとしない保護者も多く、園と保護者と共に子どもを育てることが困難になっている。長時間保育の子がほとんどで、短時間パートを加えて保育を維持しているが、正職の保育の責任が大きくなり、心身とも疲れている。女性／50歳代／私・正

【228】①特別なケアが必要な子や、長時間保育の子が増えてきている中、保育士の人数が足りないと思う。年配の保育士も多く、なかなか、意見交換しようと思っても意見をまげず通そうとすることも多くある。子育ての知識の少ない親が増え、子ども以外の事でも、色々、ケアが必要なことが多い。②年々、育てにくいと思う子が増えてきている。生活リズムやTVのことなど、子どもに良いように伝えていくが、なかなか受け入れてもらえない。女性／40歳代／公・正

【569】①(子どもが)熱を出しても、伝染病になっても、お迎えに来れない、休めないという家庭が増え、その子どもを見なくてはならず(つきっきりで)サービス残業をしたり(自主的ではありませんが)、人出不足になったりということが増えた。モンスターペアレントという程ではないが、勝手な親が増えている。グレーゾーンや障がいをもつ子どもも増え、この子に手をとられ、以前より集団生活するのに1人1人を十分にみれないことが多々ある。ただ、明らかに障がいをもっていていると思われる子も親に話しても診察をうけない子がほとんどで、対応に困る。②子育て支援・親支援にとっても不満がある。保育園に頼る家族が多いので(預けている時間も長いので)保育

園や保育士の待遇をもう少し考えてほしいと思う。仕事内容や負担は年々増えているのに、給料やボーナスが年々カットされていくことにすごく不満がある。女性／30歳代／私・正

仕事量の多さ・人手不足に関連して関係者からの訴えでよく聞かれるのは、記録など事務作業の時間がないこと(結果、「休憩時間」に記録作業を行ったり持ち帰り仕事になる)、行事・イベントの準備期間にはいつも以上に持ち帰りや不払い労働が発生することなどだ。調査結果をみてみよう。

表10のとおり、まず、a. 日常の勤務で所定通り休憩を取得することができるのは限られている(取得できている割合が「公営」でやや多いのは、労働組合による規制力がまだ発揮されていることによるのだろうか)、また、b. 書類作成など仕事の持ち帰りも、正規の保育士を中心に日常的に行われている。正規では4, 5割が(「公営」で44.8%, 「私営」で49.6%)が「よくある」という。

その結果、c. 不払い労働も日常的である、となる。全体の4分の3が「ある」と回答している。その時間数については——「時期にもよる」という回答など時間数が不明なケースも少なくなかったが——5時間以上、つまり月に約20時間以上という回答が全体の半数に及んでいる。

有給休暇についてはどうか。勤続1年未満を除いて、昨年度(2009年度)のd. 付与日数とe. 実際の使用日数を尋ねてみた。結果は、正規で——とりわけ「公営」の正規で——付与日数は多いものの、実際の使用日数は、全体のおよそ6割が10日未満で、3割弱は5日未満という水準だった。とくに「私営」で働く非正規は使用日数が少ない。4割は5日未満にとどまる。

保育をめぐるこうした状況の中で、表11のとおり、a. 保育士の勤務負担がここ数年

表10 普段の勤務での休憩取得、仕事の持ち帰り・不払い労働発生状況、有給休暇の付与・使用状況

単位：人，％

		全体		公営・雇用形態別				私営・雇用形態別			
		2395	100.0	正規	フル非正規	正規	フル非正規	正規	フル非正規	正規	フル非正規
a. 普段の勤務での休憩取得状況	所定どおり取得できている	604	25.2	141	29.3	101	35.4	180	18.5	99	22.0
	所定どおりではないがまあ取得できている	660	27.6	140	29.0	89	31.2	239	24.5	148	32.9
	あまり取得できていない	619	25.8	115	23.9	49	17.2	308	31.6	107	23.8
	まったく取得できていない	512	21.4	86	17.8	46	16.1	247	25.4	96	21.3
	(再掲) 取得できていない計		47.2		41.7		33.3		57.0		45.1
		2406	100.0	489	100.0	285	100.0	974	100.0	455	100.0
b. 書類作成など仕事の持ち帰り状況	よくある	979	40.7	219	44.8	67	23.5	483	49.6	165	36.3
	ある	589	24.5	116	23.7	70	24.6	268	27.5	100	22.0
	たまにある	590	24.5	127	26.0	90	31.6	184	18.9	132	29.0
	ない	248	10.3	27	5.5	58	20.4	39	4.0	58	12.7
	(再掲) よくある＋ある		65.2		68.5		48.1		77.1		58.2
		2313	100.0	464	100.0	270	100.0	941	100.0	440	100.0
c. 不払い労働の有無	ない	585	25.3	82	17.7	109	40.4	144	15.3	142	32.3
	ある	1728	74.7	382	82.3	161	59.6	797	84.7	298	67.7
		1375	100.0	307	100.0	115	100.0	639	100.0	246	100.0
d. 1週間における不払い労働時間数	5時間未満	711	51.7	174	56.7	73	63.5	298	46.6	131	53.3
	～10時間未満	432	31.4	92	30.0	27	23.5	224	35.1	69	28.0
	～15時間未満	186	13.5	32	10.4	9	7.8	100	15.6	35	14.2
	15時間以上	46	3.3	9	2.9	6	5.2	17	2.7	11	4.5
		1846	100.0	443	100.0	210	100.0	775	100.0	291	100.0
e. 昨年度の有給休暇の付与日数(勤続1年未満は除く)	10日以下	295	16.0	6	1.4	96	45.7	56	7.2	102	35.1
	11～15日	249	13.5	2	0.5	40	19.0	76	9.8	78	26.8
	16～20日	630	34.1	201	45.4	48	22.9	300	38.7	59	20.3
	21～39日	163	8.8	12	2.7	8	3.8	100	12.9	34	11.7
	40日(以上)	509	27.6	222	50.1	18	8.6	243	31.4	18	6.2
		1846	100.0	443	100.0	210	100.0	775	100.0	291	100.0
f. 同、使用日数(勤続1年未満は除く)	0日(不使用)	82	4.4	9	2.0	4	1.9	40	5.2	20	6.9
	～3日未満	184	10.0	39	8.8	15	7.1	71	9.2	47	16.2
	～5日未満	258	14.0	48	10.8	27	12.9	113	14.6	53	18.2
	～10日未満	569	30.8	136	30.7	65	31.0	245	31.6	84	28.9
	～15日未満	478	25.9	128	28.9	82	39.0	168	21.7	62	21.3
	15日以上	275	14.9	83	18.7	17	8.1	138	17.8	25	8.6
(再掲) 5日未満			28.4		21.7		21.9		28.9		41.2

で増しているという回答は全体の3分の2を占めている。また、b. 現行の保育士の配置基準を不十分であると評価する割合も、8割

に及んでいる。以上には、保育所保育指針の改定で書類作成業務が増えたことなども反映しているのだろう。

表 11 ここ数年での勤務負担や現行の人員配置基準に対する評価

単位：人，％

		全体		公営・雇用形態別				私営・雇用形態別			
				正規		フル非正規		正規		フル非正規	
		2305	100.0	476	100.0	276	100.0	941	100.0	421	100.0
a. ここ数年で の保育士の勤 務負担の増減	増している	1542	66.9	403	84.7	171	62.0	631	67.1	239	56.8
	とくに変化はない	731	31.7	72	15.1	102	37.0	296	31.5	178	42.3
	軽減されている	32	1.4	1	0.2	3	1.1	14	1.5	4	1.0
		2367	100.0	479	100.0	285	100.0	951	100.0	445	100.0
b. 現行の保育 士の配置基準 に対する評価	まったく不十分である	698	29.5	204	42.6	59	20.7	297	31.2	86	19.3
	不十分である	1192	50.4	229	47.8	146	51.2	467	49.1	250	56.2
	とくに問題はない	386	16.3	34	7.1	64	22.5	157	16.5	91	20.4
	よくわからない	91	3.8	12	2.5	16	5.6	30	3.2	18	4.0
(再掲)	不十分である計		79.8		90.4		71.9		80.3		75.5
		2383	100.0	482	100.0	288	100.0	953	100.0	449	100.0
c. 職場での仕 事に関する悩 み等の議論・ 相談の機会	十分にある	495	20.8	76	15.8	54	18.8	220	23.1	97	21.6
	十分ではないがある	1375	57.7	308	63.9	170	59.0	541	56.8	242	53.9
	あまりない	449	18.8	88	18.3	47	16.3	173	18.2	97	21.6
	まったくない	64	2.7	10	2.1	17	5.9	19	2.0	13	2.9
		2366	100.0	480	100.0	287	100.0	946	100.0	445	100.0
d. 離職・転職 を考えること の有無	よくある	285	12.0	46	9.6	30	10.5	133	14.1	56	12.6
	ある	374	15.8	59	12.3	41	14.3	152	16.1	94	21.1
	たまにある	826	34.9	172	35.8	116	40.4	325	34.4	148	33.3
	とくにない	881	37.2	203	42.3	100	34.8	336	35.5	147	33.0

なお、表 11 の c. 仕事に関する悩み等を議論・相談する機会の有無や、d. 離職・転職を考えることの有無については、同じことを尋ねた介護労働者の結果⁴と比べると結果はまだよいものの、それでも、d で、「よくある」あるいは「ある」をあわせると 3 割弱に及ぶのはやや懸念されるところである。

【112】②障がい児 or 手助けが必要な子が年々増す傾向にあり、それも（幅広く）なっています。父兄からの要望や意見もたくさんあり、それを充実できる程の人数（保育士）もいないので、保育以外の事務仕事などもやらなくては行けなくて、行事などがそれに加わると、

とても大変です。人員を確保したいところはやまやまなのですが、なかなかうまくいかないところです。女性／40 歳代／公・正

【128】①子どものしつけ等全てを保育園まかせにする親が多い。お迎えの時間や登園時間を守らない家庭が多い。勤務（居残り等）が多すぎて、自分の仕事が職場でできず、家に持ち帰らなければならない為、帰宅後や休日にプライベートの時間が持てない。行事が近くなると、公休なのに、午前中出勤をしなければならない。体調が悪い時以外、有休が取りづらい。②もっと保育士の社会的立場を上げてもらいたい。賃金は、現在よりもっともらえても良いはずだと思う。現在の賃金では、保育士に求められている仕事の内容と割が合わない（仕事内容の負担が大きすぎる）。女性／30 歳代／

⁴ 介護労働者調査では、前者は、あまりない 25.1％、まったくない 5.9％で、後者は、よくある 20.8％、ある 16.8％だった。

私・正

【261】②朝、おはよう!! と玄関に入ってから1分、1秒もじっとしている時間はなく忙しく動きまわり勤務時間が終わる頃にやっと一息つくという毎日です。子ども達の保育時間も長いので、パート保育士さんに頼らなくてはいけないのが現状です。あと2人くらい保育士さんが配置されると年休もとりにやすいといつも思います。女性/50歳代/私・正

【276】①常に最低限の人数の保育士で保育しているため1人休むだけでも他の保育士への負担が大きく、また子どもに対して余裕を持って関われなくなってしまうため、有休はとりにくい。0歳児～6歳児まで全員連絡帳があり、休憩中に書く。未満児は複数担任のため1人あたりの冊数は少ないが幼児は担任1人が全員分(25人)を書くので、それだけで休憩(45分+事務時間20分)が終わってしまう。女性/20歳代/私・正

【341】①子どもの人数の割合から保育士の人数は足りているが、早朝、延長保育をしているため、実際勤務時間よりも早く保育に入ったり、子どもが降園しないため、勤務から抜けられない。また、冬は除雪のため、早くから出勤している。体がもたない。乳児担当で午睡中子どもが泣いてしまうため、休憩がしっかりとれない。行事が多いため会議も多い(午睡中の)。②仕事がつくやめたいと思いつつも、子どもがいるため働いています(母子家庭)。その半面、ひとつの大きな行事を終えるごとに充実感があつたり、クラスを受け持っていますが、子どもの笑顔をみると元気をもらっています。女性/30歳代/私・フル

5. 労働条件や仕事に関する悩みや不満、非正規雇用をめぐる問題

ここで、労働条件・仕事の負担に関する悩みや不安・不満等をもう少し具体的にみてみよう。今回の調査では、「その他」を含む24項目の状況についてその有無を尋ねた。非正規労働者が対象である4項目を除く20項目の結果についてまとめたのが表12である。

第一に、賃金・評価に関わることである。すなわち、訴えが最も多いのは、ス. 仕事の内容の割に賃金水準が低いことで、その割合は5割弱(47.8%)及ぶ。ただそれも、先の満足度DI(表4)と同じく、正規と非正規とで、あるいは、「公営」と「私営」とで、それぞれ差がある。すなわち、全体では半数弱のこの値も、「公営」の正規に限れば14.8%にとどまるのに対して、非正規では49.1%に及ぶ。さらに「私営」では、正規も非正規も6割前後を占める。この、賃金の低さに関連して、ソ. 保育という仕事に対する社会的評価の低さを訴える声も全体の4割に及んでいる。

第二は、働き方や仕事の負担に関することである。例えば、キ. 休憩がとりにくい・とれないは全体では3分の1——「私営」の正規雇用では4割——に及んでいるほか、ク. 有給休暇がとりにくいという回答もまた「私営」でとくに目立つ(全体では38.6%)。さらに、割合はやや低下するが、ケ. 体調が悪くても休めない(16.2%)という訴えも、懸念される状況である。

こうした状況は保育の実践にも影響を及ぼす。すなわち、コ. 人手や時間の不足で適切な保育が困難・負担が大きい、あるいは、特別なケアが必要な子どもへの負担が大きい、という訴えもそれぞれ3割前後に及んでいる。またニ. 保護者との関係づくりの困難さや、ヌ. 保護者からの苦情や対応困難な注文等も、それぞれ2割前後を占める。

子育てが困難になっているからこそ、時間

表 12 労働条件・仕事の負担に関する悩み・不安・不満等

単位：％

	全体 n=2441	公営・雇用形態別		私営・雇用形態別	
		正規 n=492	フル非正規 n=289	正規 n=981	フル非正規 n=462
エ. 勤務が不規則である	9.4	11.0	4.5	10.3	10.4
オ. 拘束・労働時間が長い	12.4	8.7	5.2	15.4	15.8
カ. 休日出勤がある	6.7	6.7	1.4	7.2	8.4
キ. 休憩がとりにくい・とれない	34.5	31.9	21.1	41.1	35.7
ク. 有給休暇がとりにくい	38.6	35.2	23.5	47.4	42.0
ケ. 体調が悪くても休めない	16.2	15.9	9.3	18.7	17.3
コ. 人手不足や時間が足りずに適切な保育が困難だったり負担が大きい	30.1	34.1	24.6	31.6	28.8
サ. 特別なケアが必要な子どもへの保育負担が大きい	28.6	42.1	24.6	29.2	22.5
シ. 結婚や出産を機にやめざるを得ない雰囲気がある	6.6	1.0	13.5	5.6	9.5
ス. 仕事内容のわりに賃金水準が低い	47.8	14.8	49.1	59.8	62.3
ソ. 保育という仕事に対する社会的評価が低い	38.1	32.3	24.2	45.6	40.9
タ. 保育の環境・施設のハード面で支障がある	16.8	25.4	11.8	15.4	13.2
チ. 体力や健康面に不安がある	26.6	42.1	21.1	23.9	22.5
ツ. 仕事上の怪我への補償がない	3.1	0.6	4.8	4.0	3.2
テ. 上司からのセクハラやパワハラがある	4.1	4.7	3.8	5.0	2.8
ト. 上司との人間関係がうまくいかない	8.7	7.7	8.0	10.0	9.7
ナ. 同僚との間の人間関係がうまくいかない	6.9	8.7	5.9	6.2	6.3
ニ. 保護者との信頼関係づくりが難しい	23.6	28.9	20.4	25.3	20.3
ヌ. 保護者からの苦情あるいは対応困難な注文等が負担である	18.8	23.8	13.8	22.9	12.1
ネ. その他	1.3	0.8	0.3	1.8	1.3

を確保して保護者に関わる必要があるものの、そうした余裕が（双方に）ないこと、またそのことが保護者の就労や生活を共感的に理解することを困難にしている状況が示唆される。また、職員間での連携もより一層必要になるところだが、人手の不足だけでなく雇用形態（≡処遇、仕事の責任）の異なることがその妨げになっている状況が示唆される。

【351】①7つの勤務体制（シフト制）のため、毎日違う勤務時間が体力的にきつい。特別なケア、特に障がい児。或いはグレーゾーンの子どもが、クラスに数名、園全体でも、十数人いて、日々保育する中で、どうしてもマンツーマンにならないといけないことがある。1人の子に集中して付くと、全体の子が見えにくく

なるため、保育士の人数をもっと増やしてほしい。②クラス担任が複数の場合、担任間でじっくり打ち合わせをする時間がほとんど持てない。クラスの中での共通理解をもっと深めていきたい（全員、休憩時間が異なる。常に書き物に追われているため、1人1人の子どもとじっくりゆったりと関わる時間が足りない）。社会的に保育に関するニーズは高まってはいるが、保育士の労働条件が悪い。低賃金長時間勤務、サービス残業、が当たり前になっている園がほとんどだと思う。保護者への対応も苦勞する。保育は、やりがいのあるすばらしい仕事！ずっと続けていきたいと考えている。女性／20歳代／私・フル

【588】①10数年前に新卒で働き始めた

頃の早番は7:50だったが、年々早くなり、今は月に2, 3回、7時出勤がある。また、延長の子も多く、19時になっても迎えに来れない、という家庭も増えているので、延長番は特に定時に上がれないのが現状(そして、19時を超えた分の賃金は全くでない)。②これから年齢を重ねていっても、今の労働条件で働いていけるのか不安です。若い子たちがなかなか正職になれず、辞めてしまう子もいて、毎年2, 3人づつ新人教育もしつつ、保育を進めていくということは大変です。賃金アップはもちろん、社会的評価も上げてほしいです。小学校に上げる前のプレ学校みたいところも大いにあると思うので。学校の先生との格差が大きすぎると感じています。"よりよい保育・保育労働の実現"に向けてよろしくをお願いします。女性/30歳代/私・正

【610】①一人ひとりの仕事の量(保育以外)が増える一方、月の超勤手当が4時間までと決まっているのが、短く感じる。また、正規・非正規も仕事内容や量は同じ(もしくはそれ以上の場合もある)だが、給料に差があることに不満。今年から、正規も非正規も半年契約〔ママ〕ということへの不安はとても大きい。毎週土曜日のシフトは前日の午後にならないと分からないし、月のシフト(勤務表)もその月に入ってから出ることが多いので休みの日の予定が全く立てられない。女性/20歳代/私・フル

【636】①保育の仕事の1番は"子どもを見ること"。しかし、実際には子どもを見る以上に書類作成、保育環境の整備、行事等の準備等、勤務時間内ではこなせない仕事がたくさんあり、勤務時間以外の時間に仕事をしたり、自宅へ持ち帰ってする仕事の多さに日々追われています。仕事としてのやりがいはあるものの、仕

事内容、仕事量に対して賃金が低く、その分ボーナスなどの手当てが配慮されることもない状況です。一生懸命頑張っている若い職員達も不安や不満を感じているのが伝わります。また近年は子どもの育ちにも変化があり、問題の多い子ども(気になる子ども)が増えたり、保護者との関わりの上でも頭を悩ますことが多く、信頼関係を築く上での苦労も感じています。女性/40歳代/私・正

さて、ここで、非正規雇用の保育士に限定して尋ねた項目の結果をみてみよう。

いま保育士として働く際には、まず非正規雇用として働き始め、その後、一定の条件をクリアすれば正規雇用になれるというのが一般的のようだが、アキが生じない限り正規雇用になれなかったり、一定の年齢を超えてしまえば正規雇用にはなれないなど園によっても事情は様々のようだ。また、公立保育所のように、民営化が進められているところでは、新規採用の停止が続いているようだ。今回の調査では、雇用契約期間や雇い止めに対する不安、雇用転換希望などを尋ねた。ここではフルタイム型非正規だけでなく、パートタイム型非正規についてもまとめた(表13)。

結果は、第一に、a. 1回の雇用契約期間は、全体では1年ごとの更新が4分の3で多いものの、「公営」の保育士に限ると、フルタイム型もパートタイム型も、1年より短い期間で契約を結んでいるケースが多い。なお「私営」ではどちらも9割前後が1年ごとの雇用更新となっている。

第二に、b. 雇い止めの不安については、「非常に不安」に限定しても2割に及ぶ。ここでも「公営」のフルタイム型でその割合が大きい(29.9%)。

第三に、正規への雇用転換を希望しているのは全体の5割弱である。「私営」のフルタイム型で——本文には示していないが、年齢

表 13 非正規雇用をめぐる問題（対象は非正規保育士）

単位：人，％

		全体		公営・雇用形態別				私営・雇用形態別			
				フル非正規		パート非正規		フル非正規		パート非正規	
		817	100.0	261	100.0	29	100.0	425	100.0	62	100.0
a. 1 回の雇用契約期間	1 年ごとの更新	610	74.7	129	49.4	15	51.7	373	87.8	56	90.3
	1 年より短い期間ごとの更新	159	19.5	121	46.4	10	34.5	23	5.4	2	3.2
	その他	48	5.9	11	4.2	4	13.8	29	6.8	4	6.5
		813	100.0	261	100.0	29	100.0	422	100.0	61	100.0
b. 雇止めに対する不安	非常に不安がある	173	21.3	78	29.9	5	17.2	78	18.5	6	9.8
	不安がある	339	41.7	109	41.8	12	41.4	172	40.8	30	49.2
	あまり不安はない	242	29.8	58	22.2	7	24.1	141	33.4	20	32.8
	まったく不安はない	59	7.3	16	6.1	5	17.2	31	7.3	5	8.2
	(再掲) 不安がある		63.0		71.6		58.6		59.2		59.0
		782	100.0	245	100.0	27	100.0	412	100.0	60	100.0
c. 正規への雇用転換希望	希望している	368	47.1	110	44.9	8	29.6	224	54.4	9	15.0
	とくに希望していない	414	52.9	135	55.1	19	70.4	188	45.6	51	85.0
		887	100.0	289	100.0	30	100.0	462	100.0	64	100.0
d. 労働条件・仕事の負担に関する悩み・不安・不満等(複数回答可)	ア. 雇用契約が更新されないことへの不安がある	297	33.5	116	40.1	9	30.0	145	31.4	17	26.6
	イ. 正職員になれない・なるのが困難	367	41.4	138	47.8	10	33.3	196	42.4	9	14.1
	ウ. 就労期間・年数に上限が設けられている	87	9.8	47	16.3			33	7.1	5	7.8
	セ. 正規職員と同じ仕事をしているのに処遇の格差が大きい	446	50.3	173	59.9	7	23.3	240	51.9	9	14.1

の若い層でとくに——希望者が多い。パートタイム型で希望者が少ないのは、そもそも家事や育児等との関係で自らパートタイムを望んでいることが反映していると考えられよう。

第四に、先にみた表 12 に掲載されなかった、d. 労働条件や仕事の負担に関する悩み等の 4 項目をみると、イ. 正職になるのが困難という訴えや、セ. 正職と同じ仕事をしているのに処遇の格差が大きいという訴えが、とりわけフルタイム型で多い。「公営」のフルタイム型でみるとそれぞれ 47.8%，59.9% に及ぶ。処遇格差についての訴えが多いのは、正規の公務員との処遇格差が嫌でも目につかざるを得ないことを反映しているのだろうか。この点に関連して、「公営」職場のフルタイム型非正規では、49.5% が日給

(日給月給)、9.6% が時給であるがゆえ、休みが多いと生活が不安定になってしまうという問題もある。

加えて、「公営」のフルタイム型では、ア. 雇用契約が更新されないことへの不安も 4 割を占めているほか、ウ. 就労期間・年数の上限の存在を訴える声も、割合こそ小さいとはいえ、1 割を超えている (16.3%)。

こうして、異なる雇用形態が職場に混在することで、——非正規本人の意欲の喪失はもちろん問題であるが——保育という集団労働の実践や職員間の連携が困難になる (例えば、任せられる仕事内容や責任等で差をつけなければならない、つけなければ逆になぜ処遇が異なるのに同じ仕事? という不満の種となる) などの声が聞かれる。

【067】①非正規という立場上、いろいろなことで、ここまでは介入するが、ここからは入れないというものが何となくあるが、1年契約だし、仕方ないと割り切るしかないと思っている。研修なども行かせて欲しいと思うが、すべて実費になり、少ない給料からはとても参加費は出せない。正規職員は、日当や参加費をもらって行けるのに。所得が低すぎる上、毎年、来年は更新できるか不安はつきない。②かぜをひいた・熱がある〔から〕と、容易に休みたと言えない。日給月給だと引かれると生活がなりたたない。健康には気をつかう。今は元気だが、この先、年金をもらえるかもわからないが、何歳まで雇ってもらえるのか不安だ。退職金があるわけでもないし、次の仕事がすぐに決まるという事も保障はないし、この仕事は好きで、ずっと続けてきたが、早い時期に転職を考えるべきだったかなと思うことがある。このような、不安・不満は職場には言えない。どこにぶつけていいのかもわからない。今の世の中非正規の方が多いのだから、もう少し考えてもらえないものかと思っている。女性／40歳代／私・フル

【299】①正職員になれるのは27才までと決められているので、いくら頑張っても非正規に変わらない。同じ条件で仕事をし、同じ責任を持たされたりしているのに賃金はかなり違う。又、研修も正職が中心で、なかなか勉強するチャンスにも恵まれない。正職になった人たちはラッキーだったとしか思えない状況。他のことについては不満はないが、賃金については大っぴらに不満も言えない状況ではある（言ったら辞めさせられるかもしれない）。また、臨時職員も3年と決められている。たまに例外もあり、私

は例外なのですが、,,若くてチャンスのない人たちはかわいそうです。②同じ条件で仕事をするならば、全員正職にするべき。社会保障をきちんとしてほしい。不公平。納得はいいないが、雇っていただいているだけいいのかも,,とも思っています。女性／40歳代／私・フル

【405】①正職員と非正職員の間で仕事情報が伝えてもらえず、パート保育士は場あたりの雑用をこなせば良いとされている雰囲気がある。子どもが欠席しても、病気なのか家庭保育なのか、聞かないと教えてもらえない。体調が悪いのか、熱があるのかも、同様。入所時の月齢も、口頭で、こちらから聞かない限り、情報として流れてこない。保育に支障をきたすことがある。モチベーションが保てない。女性／50歳代／公・パ

6. 仕事による疲れや健康不安など

最後に、仕事による疲れ、最近の疲労回復状況、健康や体力面での不安等を尋ねてみた(表14)。年齢による差も考慮して、年齢別の結果もまとめた(表15。但し、女性に限定)。また参考までに介護労働者の調査結果もまとめた(表16)。

結果は、「身体」面でも「精神(神経)」面でも疲れを訴える割合が大きい。「とても疲れる」に限ってもそれぞれ全体の3分の1ないし3分の1強を占める。

また、そうした疲労が回復されずに翌朝に持ちこすことがよくあるあるいはいつも持ちこすというケースもまた多く、全体の3分の1強を占める。男性労働者と異なり、仕事だけでなく、家事・育児等の負担も求められるというわが国女性労働者のおかれたしんどい状況も、自由記述からは示唆される。

そして、健康や体力面での不安があるというケースも——多くは「不安がある」とど

表 14 普段の仕事による身体・神経の疲れ、疲労蓄積状況、健康や体力面での不安等 単位：人，％

		全体		公営・雇用形態別				私営・雇用形態別			
		2388	100.0	正規	フル非正規	288	100.0	正規	フル非正規	452	100.0
a. 仕事による「身体」の疲れ	とても疲れる	787	33.0	187	39.0	87	30.2	341	35.6	124	27.4
	やや疲れる	1399	58.6	273	56.9	169	58.7	533	55.7	281	62.2
	あまり疲れない	164	6.9	15	3.1	29	10.1	63	6.6	40	8.8
	まったく疲れない	8	0.3	1	0.2	1	0.3	2	0.2	3	0.7
	どちらともいえない	30	1.3	4	0.8	2	0.7	18	1.9	4	0.9
		2388	100.0	480	100.0	288	100.0	957	100.0	452	100.0
b. 仕事による「神経」の疲れ	とても疲れる	927	38.8	238	49.6	101	35.1	391	40.9	149	33.0
	やや疲れる	1255	52.6	226	47.1	157	54.5	494	51.6	245	54.2
	あまり疲れない	178	7.5	13	2.7	29	10.1	57	6.0	52	11.5
	まったく疲れない	10	0.4	1	0.2			5	0.5	2	0.4
	どちらともいえない	18	0.8	2	0.4	1	0.3	10	1.0	4	0.9
		2387	100.0	480	100.0	287	100.0	956	100.0	451	100.0
c. 最近の疲労の回復状況	1 晩睡眠をとればだいたい疲労は回復する	516	21.6	71	14.8	84	29.3	185	19.4	114	25.3
	翌朝に前日の疲労を持ちこすことがときどきある	997	41.8	195	40.6	114	39.7	409	42.8	195	43.2
	翌朝に前日の疲労を持ちこすことがよくある	560	23.5	127	26.5	55	19.2	235	24.6	101	22.4
	翌朝に前日の疲労をいつも持ちこしている	314	13.2	87	18.1	34	11.8	127	13.3	41	9.1
	(再掲) 疲労高蓄積群	36.6		44.6		31.0		37.9		31.5	
		2371	100.0	479	100.0	286	100.0	948	100.0	445	100.0
d. 健康や体力面での不安	非常に不安がある	201	8.5	65	13.6	24	8.4	73	7.7	25	5.6
	不安がある	1085	45.8	272	56.8	118	41.3	444	46.8	165	37.1
	あまり不安はない	953	40.2	133	27.8	126	44.1	379	40.0	216	48.5
	まったく不安はない	132	5.6	9	1.9	18	6.3	52	5.5	39	8.8

表 15 年齢別にみた、普段の仕事による身体・神経の疲れ、疲労蓄積状況、健康や体力面での不安等（女性）

単位：％

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代
仕事による疲れ	n=834	n=593	n=533	n=338
a. 「身体」とても疲れる	28.7	32.9	37.9	39.1
b. 「神経」とても疲れる	35.9	38.6	41.5	44.1
c. 最近の疲労の回復状況	n=831	n=589	n=535	n=340
翌朝に前日の疲労を持ちこすことがよくある	21.4	25.1	26.0	22.6
翌朝に前日の疲労をいつも持ちこしている	9.1	12.4	17.0	19.7
(再掲) 疲労高蓄積群	30.6	37.5	43.0	42.4
d. 健康や体力面での不安	n=824	n=589	n=526	n=342
非常に不安がある	4.7	7.8	10.8	16.1
不安がある	31.8	45.5	59.9	62.3

表16 年齢別にみた、普段の仕事による身体・神経の疲れ、疲労蓄積状況、健康や体力面での不安等（特養で働く女性の介護労働者）

単位：％

	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
仕事による疲れ	n=639	n=187	n=149	n=145	n=136
a. 「身体」とも疲れる	52.9	49.2	59.1	60.0	48.5
b. 「神経」とも疲れる	51.8	55.1	57.0	50.3	46.3
c. 最近の疲労の回復状況	n=634	n=186	n=149	n=142	n=135
翌朝に前日の疲労を持ちこずことがよくある	26.5	22.0	28.2	28.9	29.6
翌朝に前日の疲労をいつも持ちこしている	21.6	17.7	26.8	26.1	19.3
(再掲) 疲労高蓄積群	48.1	39.8	55.0	54.9	48.9
d. 健康や体力面での不安	n=638	n=186	n=149	n=145	n=136
非常に不安がある	23.2	15.6	28.2	31.0	22.1
不安がある	53.9	51.6	55.0	51.0	58.8

出所：川村（2010b）より作成。

まるものの——全体の半数を占めている。年齢が高まるにつれその割合は大きくなっている（表15）。

ところで、比較のために掲載したがこれらの疲労状況等は介護労働者でより深刻だった（表16）。つまり、夜勤等があり、身体介護が中心の特養施設で働く介護労働者の労働負担が高いことをあらためて示す結果となった。

なお本文には示していないが、持病（医師から診断されたもの）の有無を尋ねたところ、最も多かったのは「腰痛」（20.5％）だった。身体に関する訴えを中心とする自覚症状の有無についても今後の調査課題である。

【350】①2児の母として仕事をしており、3歳児クラス担任としての仕事量は多く、追いつかない。書類等、ピアノの練習等、家でやるしかなく、子どもが寝ついてからなので夜中にするはめになり、日々寝不足で辛い。休憩時間は、保育室の掃除や日誌記入位しかできず、行事の準備、作り物等は、勤務終了してからしかできず、残業には入らないので、その分の手当てもなく、作り物等は、勤務終了してからしかできず、残業には入らないので、

その分の手当てもなく、給料は安すぎる。

②家庭と仕事の両立がものすごく大変なので、体力には自信があったものの、フルタイムで働き、家事は全て自分1人でこなし、2人の子どもも育てているため、最近では疲労感が増して辛い。主人は家事も子育てにも無関心で協力なしなので、このまま両立が続けられるか心配である。仕事量（保育園の書類・作り物・自分自身の勉強等）が多いので、毎日必死にこなしている状態。ストレスもたまり、体調を崩しそうで不安である。だが、保育士の仕事以外は考えられないので、なんとか頑張りたいと思っている。女性／30歳代／私・正

【433】①3歳児20名弱を1人でうけもっていますが、甘えの強い子や家庭環境の変化で情緒不安定な子もいたり、1人では大変なことが多々あります。日々の保育に追われ1人1人じっくり関わっていないことに反省する日々。園外に出る時も1人（追加で）入れる日でないと出かけられなかったり、行事などは本当に苦労します。また、担任依存の子も多く、悩みつづけています。母（保護

者)にも勤務によっては会えない日もあり、指的されることもあり。「受け入れも担任にいてほしい」「直接話したい」など。1人で書き物・保育など大変な日々です。②悩み・ストレスなどから情緒が安定せず通院もしていました。もっと、ゆとりのある保育ができる環境を強く求めます。女性／20歳代／私・正

【502】①休日でも研修などで常に仕事のことから離れられない状態。勤務時間が終わっても帰れることはまずない。いつも家には寝に帰る状況。保育士の人数が少なく、誰かが休めば誰かが超勤が当たり前。頑張っても給料は安い。保育士は誰でもなれると思っている。お世話役とされている。保護者のわがままを一方的に押しつけてくる家庭が多くなっている。②子どもに囲まれた素晴らしい仕事だと思いますが、休みがなかなかとれず勤務が終わっても仕事（事務）に追われる毎日です。働いて働いてそれでも毎月の給料は一般の企業に比べると明らかに少なく、社会人として自立して一人暮らしをしたくても満足に生活が出来ません。今は健康だと思っていますが、いつ大きな病気になるかわからない状態です。日々の生活に希望が持たなくなりつつあります。女性／20歳代／私・フル

す役割に注目が集まっているものの、その保育士自身が厳しい労働環境での仕事を余儀なくされているのではないかと。そうした状況をより悪化させかねないと保育現場から懸念や批判が向けられている「子ども・子育て新システム」という制度案に対して、保育現場の実態を明らかにする必要がある、そう考えて行ったのが今回の調査である。十分な検討を経ずにこうして調査結果を公表したのも、実態をふまえぬまま政治の分野で制度案が固まっていくことに対する懸念があった。

さて、今回の調査からまずみえてきたのは、保育士の雇用の不安定さ、処遇の低さだった。

例えば、保育士全体の半数を非正規雇用が占めていた。またその非正規保育士の年収は著しく低く、フルタイム型に限っても、「公営」の場合3分の2が、「私営」でも3分の1が、200万円未満という水準だった。（以上の数値は保育園調査より）。

しかも保育業界での非正規は、正規雇用への登用が必ずしも約束されているわけではなく、むしろ公務職場では、勤務年数の上制限も珍しくなかった。

また、保育士の年齢構成をみれば明らかなおと、「私営」では、長く勤めることが園の財政的にも困難である。公立職員との給与格差の是正を図るという観点から支給されている、民間施設給与等改善費加算も上限がある。つまり、制度的にも保育士の長期勤続は保障されていないのだ。

逆に仕事の負担面ではどうか。

保護者の就労支援を目的に、延長保育など特別保育事業が日常的に行われるようになった。また、子どもや保護者をとりまく環境の変化を背景にして、特別なケアを必要とする子どもや発達障害の気になる子どもが増えているという。

しかしながら、保育士の働く環境でもある最低基準は基本的に改善されぬまま現在に至っている。むしろ定員規制の緩和で都市部

Ⅱ. まとめに代えて

川村（2010a）に引き続き、保育士アンケートの結果を示しながら、今日の保育・保育労働をめぐる問題等を明らかにしてきた。

子育てや子育ての環境が悪化していることは様々な機会を通じて指摘されているところである。女性の職場進出は進む一方で、仕事と家庭を両立することができる条件は整備されていない。そんな中で、保育関係者の果た

では定員超過が日常的となり、子どもの密度も現場の負担も増している。困難事例への対応としては研修機会の確保も必要になるがそうした機会も財源も十分に確保されていないのが現状だ。

また、指針の改定自体は必ずしも否定されるものではないが、現場への支援がないまま実施されたため、以前よりも輪をかけて書類作成業務などが増えた。完全に仕事を離れた休憩が取得できないのも、仕事の持ち帰りも、保育現場では日常的のようである。

加えて、延長保育等で勤務時間が不規則になったことや非正規雇用の増大は、職員間の連携、集団としての保育労働の実践を困難にしている。

なお、保護者との関わりにおいて、保育士と保護者との間に対立構造が生まれているのを感じさせる記述も少なくなかったが、それは、現場の負担が増す中で、保護者のおかれた状況を共感的に理解する余裕が保育士から奪われていることを示しているのではないか。

さて、介護保険制度で何が起きたかを鑑みると、新システムの導入でこうした現状——とりわけ私たちの関心事である保育の労働条件——がより悪化することは明らかではないか。

現在、政治におけるこの分野では、「子ども手当」という現金給付に良かれ悪しかれ関心が集中しているが、子どもの育ちや子育てを社会全体でどう支援していくのか、とくに今回の調査に関していえば、今日に至るまで

改善されぬままにきた保育園の環境整備をどう図るかの議論が早急に開始される必要があると考える。

謝 辞

今回の調査研究でも、多くの関係者にお世話になった。とりわけ、坪谷哲雄氏（札幌フラワー保育園長）には、お忙しいところ、何度も園にお邪魔して、保育制度についてのレクチャーをいただいた。また元町杉の子保育園では、職員のみなさんにまじって、保育実践の体験という貴重な機会をいただいた。有り難うございました。

参考文献⁵

- ・川村雅則（2010 a）「保育・保育労働をめぐる問題（Ⅰ）」『北海学園大学経済論集』第58巻第3号，2010年
- ・川村雅則（2010 b）「介護・介護労働をめぐる問題（Ⅱ）」『北海学園大学経済論集』第58巻第3号，2010年
- ・垣内国光編著『保育に生きる人びと——調査に見る保育者の実態と専門性』ひとなる書房，2011年
- ・村山祐一『もっと考えて!! 子どもの保育条件——保育所最低基準の歩みと改善課題』新読書社，2001年
- ・村山祐一『「子育て支援後進国」からの脱却——子育て環境格差と幼保一元化・子育て支援のゆくえ』新読書社，2008年

⁵ 川村（2010 a）も参照のこと。

資料1 保育士アンケート自由記述

調査票には自由記述欄を設けた。①は、労働条件・仕事の悩
みや不満等の具体的内容（調査票 p3 部分）が、②は仕事・生活・
健康上の悩みや要望等の具体的内容（調査票 p4 部分）が、それ
ぞれ書かれたものである。

なお、回答者の末尾には、性別、年齢のほか、勤め先の保有
 国の運営形態と回答者の雇用形態をまとめた。運営形態は、「公
 営」がそのほかの社会福祉法に運営を中心とする私営の保有国を意味する。雇用形態は、「正」＝正
 規雇用、「ワケ」＝カギ型型、「非正規雇用」、「ハ」＝パート型、非正
 規雇用を意味している。

【005】勤めたばかりの職場で、現場復帰して（20年ぶりの保育士ですか）まだ、慣れないので、不満はございません。この年齢で、働かせて頂けること、感謝しております。女性／40歳代／私・74

[006] ①「道徳的責任者としての」から特定の子弟に特別な注意を向けず、全職員、教職員で一緒に行い、上司の責任をきつ、成績向上や道徳の会話をきこひと徹底して、子どもがのびに伸び、道徳の生活が豊か、ちよっと切り替えても見落して子どもは、②「道徳的責任者として」子どもは、③「道徳的責任者として」子どもは、④「道徳的責任者として」子どもは、⑤「道徳的責任者として」子どもは、⑥「道徳的責任者として」子どもは、⑦「道徳的責任者として」子どもは、⑧「道徳的責任者として」子どもは、⑨「道徳的責任者として」子どもは、⑩「道徳的責任者として」子どもは、⑪「道徳的責任者として」子どもは、⑫「道徳的責任者として」子どもは、⑬「道徳的責任者として」子どもは、⑭「道徳的責任者として」子どもは、⑮「道徳的責任者として」子どもは、⑯「道徳的責任者として」子どもは、⑰「道徳的責任者として」子どもは、⑱「道徳的責任者として」子どもは、⑲「道徳的責任者として」子どもは、⑳「道徳的責任者として」子どもは、㉑「道徳的責任者として」子どもは、㉒「道徳的責任者として」子どもは、㉓「道徳的責任者として」子どもは、㉔「道徳的責任者として」子どもは、㉕「道徳的責任者として」子どもは、㉖「道徳的責任者として」子どもは、㉗「道徳的責任者として」子どもは、㉘「道徳的責任者として」子どもは、㉙「道徳的責任者として」子どもは、㉚「道徳的責任者として」子どもは、㉛「道徳的責任者として」子どもは、㉜「道徳的責任者として」子どもは、㉝「道徳的責任者として」子どもは、㉞「道徳的責任者として」子どもは、㉟「道徳的責任者として」子どもは、㊱「道徳的責任者として」子どもは、㊲「道徳的責任者として」子どもは、㊳「道徳的責任者として」子どもは、㊴「道徳的責任者として」子どもは、㊵「道徳的責任者として」子どもは、㊶「道徳的責任者として」子どもは、㊷「道徳的責任者として」子どもは、㊸「道徳的責任者として」子どもは、㊹「道徳的責任者として」子どもは、㊺「道徳的責任者として」子どもは、㊻「道徳的責任者として」子どもは、㊼「道徳的責任者として」子どもは、㊽「道徳的責任者として」子どもは、㊾「道徳的責任者として」子どもは、㊿「道徳的責任者として」子どもは、

[illegible]

[015] 自分分が強弱でも認めてもらえないこと。②薬く仕
事してました。去年1年1体がが落ちていてとても不安を感じていま
す。健康な人と女性、遊びたい。女性、保健士が公。正

[016] ①83 ②やっぱり保健士の労働条件を変えないと、辞め
てしまったのかな。男性保健士の労働条件を変えないと、生
活の苦痛を感じない。保健士の労働条件を上げない限り、
いかに頑張っても今のままでは社会的な地位を上げない。人を育
つという仕事（原典も子ども）である私たちが、自分分にも優
い、理解を与えてあげたいと感じている。それが良い！保健士にも
理解を与えてあげたい。正

[illegible]

【023】①保護者との対応面で難しく、悩むことがある。ストレスになり、仕事を辞めたいと思うことが多くなった。②時間に余裕を持って別な生き方をしたいと思うことがある。女性/50歳代/公・正

[illegible]

【041】①時間内で書類などの仕事をやることは無理で、どうし

でも持ち帰りが多くなくなってしまう。又、時間外の仕事でお金が出る時と出ない時があるので、全部出てほしい。女性／40歳代／私・正

【042】④園での子どもの様子を伝え、家庭での様子を聞きたくても軽くあしらわれ、保育の手助けにならない。園と家庭での様子があまりにも違いすぎ、互いにとまどい、うまくいくなかなか良好な信頼関係をつくるのが難しい（その子と母親・母子家庭）。女性/40歳代/公・74

[043] ②体力的に定年まで働いていけるのだろうかと不安に思
う。女性/40歳代/公・正

[045] ①家庭と仕事の両立のため、事務仕事（カリキュラム、
その準備、学習など）を片付けるのが負担になっている。勤
務時間内に済ませられるように職員の数が多い。女性/50歳
代/公・正

【051】①子どものためにと話をしても、親中心の考え方を変えてくれない(眠る時間、食事、子どもとの関わり方)。まだまだ子守り程度にしか思っていない人がいる。正職員と仕事内容は全く同じなのに賃金 処遇が違ふ。女性/50 歳代/私・7%

[0692] ①東京市七区に職に就いたということで、できあがった川町、でなければ自己努力が足りないかみなみされてしまいます。認められたいという気持ち、愛情を神様と受ける様子などへの気まぐれのみ、...
なれたらいいという現実です。社会から、職場から、保護者から認められたい、...
...
②協力、神徳の使い手です。持っている仕事や、多く、...
...
常に忙しませんが、もう慣れているといっているのは、この神徳で
返ってくるというところでもあります。自分受けて神徳がないか、子
どもたちと競っている毎日です。女性「30歳以上、私」
[0693] ①新人の人生を去来一遍に入ると入ると入ると、去来一遍の時点
で、新人の人生が全部... (今年からフリーの体制をとるも
うらう)。自分のクラスをみなながら新人さんのクラスとスロー
しなれたらと大変です。フリーの先生の重要性をとるに感じま
した。女性「70歳以上、公二」

【061】①勤務時間等、正職員と同時間、また勤務内容であるが、1年雇用、不定期職員という事で、条件等また賃金に大きな違いがあり、辞める人がすごく多くなっている。女性/50歳代/公・

【066】①拘束時間が長く、夜の打ち合わせ、会議等で家庭と仕事で、大変。やりがいは感じるが、リフレッシュの時間がほしい。もっと、保育に携わる人の評価をしてほしい。女性/40歳代/私/正

[068] ① 気になる母親は、子どもが増えてきている為、一人ひとりに丁寧に話をしたり、話をし合う時間をもちにいくと思います。日々の保育や準備等に追われ、余裕がなくなって行っていると思います。② 気持ちや体力に差が出て、行動が追いつかないと感じることがあります。保育士の仕事は少しづつ認められるようになってきていると思いますが、賃金の低さを感じます。女性・30歳代・私・7人

【089】①休みは取ろうと思えば取れるが、行事が多く、休むと自分が困ることになる。ケアの必要な子が午睡中、静かにでき

[illegible]

[女7] 30歳代私・正
[007] 江戸前などの繁には戸物などの仕事が多く、
として勤め時間が長には終ることも多い。残業は当然 18-
労働時間は年31日 毎日でもは将も働り、休日にも仕事
労働金は年31日 毎日もは将も働り、休日にも仕事
金を得るを得ず、休日もは将も働り、休日にも仕事
を成したと云ひは時のにもえがいたと思つたに合
いな嫌な。②労働時間が長に不利で体當りが大
変、疲しよく、土曜日からいかに休むことができない。女
20歳代私・正

【0893】②10～15 年前と比較すると、子どもに対する理解が深ま
り、体罰の内容も、今までと異なっている。親が子どもを「教育」に出
す、努力義務で充実させていると聞きます。私自身も勇気を出
して、思いを声に出して、よりよい保育に貢献したいです。反
対に、気の強い、さみしい大人や子どもが増えていることに危
険を感じています。1人の大人と、1人の保育士が、
今やることをよく考え、行動していきたいかと思っています。
育児がアツプ！女性7割がアツプ！小さな声で叫びたいと思いま
す。頑張ります。家庭内暴力、7割

[illegible]

【999】②子育てをしながらの仕事に日々、いつまでやっていけるか、一年一年働いています。仕事自体には、やりがいも感じ、

[illegible]

【919】①園長が常に不在である。園長を補佐する身内の職員から園の様子や経理上のことを含め、間接的に報告を受けている

[illegible]

【2021】①上司が自分の仕事を部下に押し付けてきて、自分では何もしない。保士君が足りなくなると、自分から保士君に入らなう。保士君に入っても子どもと接しようと思わず、陶器と思われがたい。②陶器の配置場所を改善してほしい。低年齢の子どもも大きく、関わりを増やしてあげたいが、保士君が足りない。女性 30歳代/私。

【994】①子どもの数に対して職員数を決め配置をしているが、ボーダーラインの子で特別なケアを必要とする子どもが増えており、単に子どもの数だけで見ての職員配置では変化が大きいと感じている。個々に良いが、集団生活となると一人ひとりに手をかけてあげなければならぬと大変である。女性/40歳代/

公・正

[897] ②今の20代・30代の保育士は貰えるというのが苦
手なので困る。1つの結果を出せば、それで終わりと、あとは目
分には関係ないという雰囲気を出す。結局、その人の分の責任を
負う。正職に就くための勉強が女性/40歳代/私・7人
欲しい。正職に就くための勉強が女性/40歳代/私・7人
[898] ②働ける場所があることを良しとしなければなりません。
女性/50歳代/公・7人

いて、同じところで長く働いている人も、平等でないと感じる。市に対する雇用の不満。②年季手続したことで、体力・精神的なダメージをかかえている。保賃という仕事としても大切な時期の子どもたちを預かる大変な仕事だと思っています。出来事ならまだ継続していきなり、当初から更新はないと言われている、あらたに仕事をさがさなければならぬ不安がある。保育・教育にもっと力をいれてい「国であってほしい。女性／30歳代／公・74

【905】①2 年契約なので、来年、職がみつかるか不安はある。
女性・20 歳代／私・74

[907] ①保護者ととの信頼関係づくりは難しく、極小体調を崩してしまふことが多くありました。今年度のクラスの保護者は理解もあり、とても満足してました。女性/30歳代 私・正

さ、自分が求める仕事を獲得したとしても、職員にはなりません。最近保護者の方から、自分が求める仕事を獲得して欲しい、自分の力で生きて欲しい、最近生活の質の考えも変わってきています。自分の夢が実現する方が多く、子育ては親一攫の力に頼り、という夢が強い方が多く、子育ては親一攫の力ばかりがまとも強く感じます。モンスターの方が少ないという、子育てで交際がなされた方から、モンスターが少なくなったと報告した方が多くなっています。①公立園、私立園の保母さんとは異なると、続けられます。続けられます。公営園の給与が下がるとこちらから給与を下がる、待遇に差があるのに「給与を上げたい」といいます。

使業三つについて、今は大々大々が夜から何かに支度もありやういふところ。仕事は、麒麟殿も仕學堂が「田舎」にいらすうまゝで通帳であることと不慣れを覚えている、それ以外に出ることもないと思うの働かない。立場上、全体的のことを考えるならではあらず、極ぼきかたとして（上月、後輩の）、自らの保育者が端みがかず、でも何と言えないし、上司と言わない（知っている）知らず、自分側には義務と出直し、後援するとして自分の子とて是を早稲田に預けたいと思つてゐると、自分より進取したいなれば、昔（7・100期）連番（90・100まで）の上送り取りが出来ません。

自分側の用意は保育士局を考へるに掛けにくく、今で、産身分、身体の状態は総じて健康な女性です。子ども、子育て新システムというふうな支援はまだやめて欲しいです。保育者としたら、今よりもよくなつてしまつてしまふ方がよいのです。生活がゆめづめでなつてしまつてしまふ方がよいと言ひたいぐらゐります。この歳で子供がいた経験であります。今一年齢を考えると、このアンケートを通じて何かしら保育制度に変化（良い方）がありまことを期待しています。皇室・皇子女に交代しました。女性／60歳

代表 / 正

[909] ①議員の後援の声援について、上手に相違できていないのではないかなと思うときがある。②大母さすなずとも大切な仲人達とすべし事ができて幸いです。女性/30歳代/私・正

[912] ①10年野村新報を経験し、保育士に転職したが、仕事内容、拘束される時間（家での育児と併行の仕事）、家庭支援（保

り、とても良い仕事ですが忙しすぎてゆとりがない。女性／40
歳代／私・7/4

【87】①近頃もの記入の増加、連絡網や電話による時間的などな
負担があり、親・保護者への関わり、コミュニケーションなども
難しく、考えたい。さらに苦痛につながる。僕がサード
スライディングという遊びをしているので、子供とていっしょに遊んでほしい。②子育てについて聞いて、学校にあると、子
供をもううらう 児童館で習字 学校の先生 学童に不慣
れ不安がある。幼稚園、夏休みは小学校の先生とのか
しではらの学習習慣が深まる。私もふつと入ることはできず、
一時休めてもよいこと、仕事・学校・年少の園とどきか解
している。近ごろ現れている負担大、新システムには、疑問が
多い。現場で働くものに、ギリギリのところであることで
で、余裕もなく、親とのコミュニケーションも難しく、これか
らの問題は不足が多い。保活面を増やすだけではなく、質の良い
人、人間性のある保育者ができる環境を望むがい。女性 / 30 歳代
私・人

[898] ①ノノについて、意見を述べさせていただきます。保育が世の中、最も頼まれ、政府でも子育てにお金を投入し始めたからといって、子どもと遊んで、互恵して、という時代は過ぎたからにも見えますが、社会的に保育という職業の理解や保育士の仕事内容についての問題は何か変わっています。子育てということが、日本、欧国のように単純に子育てが国民の意識となってきたのは、まだのようで、なおよく不可解なことだといえます。保育ニーズの多

[illegible]

性/30歳代/私・正

い。女性/30歳代/私・正
【903】正社員として働きたいが、契約満了ということで1
年ごとにきられる。不安がとでもある。②乳児クラス担任にな
り、腰やとががもともと悪かったのが、少しずつまた悪くなっ
てきた。女性/20歳代/私・7月

【904】①臨時職員は1年で契約更新がないので、やっと慣れた時に仕事がなくなってしまう。人によって更新されている人も

【894】幼保一元化の関につき、幼と保両方の仕事に関わることが多く、勤務時間が長くなることが多い。幼と保の保護者の環境が異なるため、それぞれの思いも違い、対応への配慮が大変、2疲れやストレスをためない工夫をしても、疲れる(ぐへ)賃金のベースアップがストップしているので、年一度の昇給を

要する。女性 40 歳代・私・正

[865] ①特別ケアの必要因子が増えているのに、保健所など民間施設に依頼するケースも少なく、国全体でもあまり知識を持っていない保育士も多く、担任になった保育士だけが負担が大きくなっている現状がとても大変です。小学校、幼稚園のように早くから支援やアドバイザーが設置されることを願っています。女性 40 歳代・私・正

【898】①年齢を理由にしたくはないが、やはり体力的に年齢に
は勝てない部分があり、多くの痛みや疲れは無理して対応し、
それがつづき重なってまします。周りから働きたくないといひ
目で見られストレスにできないでいるのが、あるような気がする。②社
事やめると生活がでないで、やるしかないが、体力が健
康に今後自信がない。女性、50歳代/公・正

【863】②社会的・福祉への評価が低く、ハードな仕事の内容に
見合った賃金ではないので、生活にも月々不安を抱えている。
対人間として向き合って子どもと関わるため、精神的な疲労も
大きい。体制もしっかりと組めるよう、国に対して補助金の増
額を求めたいと思います。女性・20歳代・私・正

【871】結婚で妻を持ったときに生活していけるのだから
か？男性／20歳代／私・正

【872】保護者との会話が多くとれない。思うようにできない。
女性／20歳代／私・7人

【873】①自問は、労働時間その他に休憩時間には時間あり、拘束時間約計9時間とほぼ定まっているが、通勤費や自費の記入、病休など、追わねば休憩時間がとまれない。また、一々職員にならないため、職員が一人で欠けた場合は全員で補うことになっているので負担も増え、有休がとづいて、年に一度、大規模有休として決められ、休日日にちで有休をとっているが、希望した日にはでない。女性/20歳代/私・正

【876】①眞實、子どもも遊べ保育している時間より保育や行事ごとの準備や書類、子どもの家庭状況への配慮を考へる時間が多く、休憩や有休を仕事から離れてとることが難しい。女性／20歳代／私・正

[illegible]

[illegible][illegible][illegible]

【1132】①国、政治にふり回されること。子どもの実態、保育の現場、利用する保護者など当事者のことを考えず、金のことではなく、数字しか見ない人たちが、おかしい制度を作り、おしつけようとすることに不満がある。②国の政治の不安定さ、指導する者がはつきりしない点など。安心して、安定して

このことを専門機関にのびかけたがり進捗をすることらしい。最終的に日本から有資格者がその研究のために海外に出ていくことになる。また、相模、進捗をすることのできるシステムがあらわれたいと思う。②家畜の繁殖管理の見直しが必要だと思う。

4、5歳の30:1は、子どもの数が多いと思う。1クラス20人くらいにしたいと思うし、3歳は12~15人位、1歳は4人位など、子どもにも幼児人数の配属基準にすぎないと思う。女性/50歳代/公

【1094】①クラス担任のリーダーになることと責任が重大で重荷に感じてしまう。幼児期が人間形成に最も重要な時期なのに、この職業の重要性が認められていないことにずっと不満を感じています。休日や賃金も増えてくれるのもっとやりがいがあります。

女性／40歳代／私・74

【1097】①有給休暇が取りづらく、休みが少なかったため疲れがと
れず、書類等の書き物が多く、家での仕事が多い。女性／20
歳代／私・74

[1098] ②自分の子どもも保育園に通っていて、突然の発熱や体調不良などで急に休まなければならないときもある。また、仕事や育児で、病児保育を利用するのだが、受け入れ人数が少なくて利用できないときがある。女性、70歳代/私・正

[1101] ②時間外報酬と金額が明確ではなく、表示をわかりやすくしてほしいと思っている。持ち帰りの仕事が多い。仕方がないからしょうがないという現状です。保育が楽しくなっています。女性、20歳代/私・正

【1102】①とにかく所得が低い。仕事も、もっと任せてほしい。
自分が思うことと逆のことをやらなくてはならないときがある。

②このままじゃ結婚ができないと思う。男性/20歳代/私・7人

【1103】①事務仕事が多くなり、思うように子ども達と接する

【1116】②今は実家の近くに住み、子どもの送りや病院受診なども、自分が仕事のとときは祖母が代わりに行ってくれるが、祖母の時間が少ない。(毎日の時間の取り方が悪いのかもしれない、...) 女性/50歳代/公・正

①1971年～本年度の雇用契約の更新が約束である。女性／30歳代／公・正
母に助であったときの生活が不安、更新が約束である、更新が約束である、6
ではない（注）で（年齢のこともあり）、不安である。失業保険も、6
ヶ月間だけ継続から引かれなくなり、実際、3月で切られてから失
業保険が出ないシステムに疑問がある。何年か続けて雇用に
就きたい。②健康に不安はあるが、通院には無理がある。特に腎

【1123】②異動などで精神的に疲れた。家に帰るとどっと疲れがでて動けなくなる(まづ横になりたい)。女性／40歳代／公・

[1194] ③編輯者吉井は、正議と同じ仕事内容なのに、ホーナーズなし、交遊手当なしと、給料の面で差が大きい。また、役所からの現物書は臨時職員の仕事内容に「寄附金」と記されているのにあからずき、実際に年長クラスの使用人を一人でもたされた時、その他の責任面でも正議と何とも変わりません。また、そういう現場の責任者の立場に置いて見ても、まともに働いてもらえず、毎週一時間だけ面談して

にない。女性／20歳代・私・74

[1076] ① 給料が少ない。上の先生方の考え方が古い。新しい
ものを取り入れようとしても、できない（やらせてくれない）言われ
ることを承知し、直接話さず、通順しに言われ
たり、裏で陰口を言われる。先輩の先生の何人か、特定の
子（女）を可憐がる。また、特定の子（女）を嫌う、かわいそうしない。②
赤ちゃんを抱っこすることによって腹・負担がかかる。女性／20歳代
・私・75

[1079] ②長年勤んでいた職場で、今年の4月に他の面と合併したことで、上司が一変であり、今までやり方も違ってくるという。職員のモチベーションも落ち、人間関係などが精神的ストレスとつながり、ぜんぜんよくない、続けていくのが堪えない。また労働内容の割には、給与が安く感じます。女性/30歳代/私・正

[1084] ②事務的なことをする時間が足りなく、家に持ち帰りたいと思うことがよくあるのも、もう少しその時間を確保してほしいという。女性/50歳代/公・正

[illegible][illegible]

【1089】①上記の中にはありませんが、臨時保育士さんが多いことで、親への対応などの面で正副職員への負担が大きくなっていることが多いの1つです（最終的に責任を持つのは、正副の職員なので。女性/30歳代/公・正）

【1091】①モンスターペアレントが多い。女性/20歳代/私・
【1092】①特別なケアが必要だと保育現場で思っている。そ

い、くと思います。女性・30歳代/私・正

【1049】①やはり正職の空きがなく、上戸辞めなければ上がれない状態。それは理解の上だがクラス担任も持っていて酷い、というのには割に合わない。女性・20歳代/私・74

[1067] ①神祇があり、神託に行こうと思うが、有給休暇を使おうと他の専任士（非主幹）を頼まなければいけないので、週休二日制で休むことができない。落ち着きがない子が増えているが、話さないから行くことがあったり、理屈が通らなかったりして、多量。女性/20歳代/公・正

[1068] ①まったく同じ仕事内容でありながら、正調と臨調の賃金の差が大きすぎる。これが不平等とされています。事務所などの賃金も同じ時期で稼働させられず、これは不平等とされています。

た。種々条件が仕事のみならず、生活の面でも、親類との事でも立派な大変さがある。②不慣れた時代で、どんな仕事でも、新しい仕事もみかたが、しつかりと仕事をしたいた

【note】①保衛隊が攻め込んだ。②以上より仕事量が非常に多い。③園ではその仕事が出ず「要」を満くることが多い。④園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑤逆に少い。⑥園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑦逆に少い。⑧園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑨逆に少い。⑩園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑪逆に少い。⑫園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑬逆に少い。⑭園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑮逆に少い。⑯園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑰逆に少い。⑱園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。⑲逆に少い。⑳園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉑逆に少い。㉒園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉓逆に少い。㉔園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉕逆に少い。㉖園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉗逆に少い。㉘園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉙逆に少い。㉚園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉛逆に少い。㉜園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉝逆に少い。㉞園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㉟逆に少い。㊱園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㊲逆に少い。㊳園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㊴逆に少い。㊵園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㊶逆に少い。㊷園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㊸逆に少い。㊹園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㊺逆に少い。㊻園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㊼逆に少い。㊽園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。㊾逆に少い。㊿園では、特に「交友なし」に悩んでいる人が多くいる。

[illegible]

【1072】①先輩の先生が有休を取らないため、私達も取りづら
しい。正職員と臨職の差があまりない。同じように仕事をしてい
るのに賃金は少ない。休憩場所が事務室であり、休める器用気

自分が体調を崩しても、子どもが体調を崩しても、用事があっても、自由な休養をたれる時間がない。有休があっても意味がない。今は休養をもらって、女性だけの職業ではないが、私たち女性が子どももいて、安定して、安心して働ける職場環境になれればよい。女性/30歳代/私・正

【1411】①子育てで交際している友人へ参入しているような政策の決定に懸念。国よりまわっているような、もっと当事者の身になって制度の決定をして欲しい。女性/40歳代/公・74

【1412】②職員の仕事の休みのために人手不足になり、子ども一人ひとりの対応・保育が十分にできないことがある。女性/20歳代/私・正

【1413】②結婚・出産でやめなければならぬというのはいないが、出産を考えると、今の仕事で自分の時間を考えると、続けるのは無理。退職後で自分の体調を整えるのが第一。女性/30歳代/私・正

【1414】③保育の方向性、保育士に望まれていること等が理解できます。また十分に期待できる状況でもなく、保育士と上司との信頼関係にとっても不安が根付いている。②また自分が出すために何を基準に働いているのかからなくなる。保育という仕事に楽しさを感じると同時に焦りをとりまき様々な誤解・要因によって保育の内容が次々大きく変わっていくことに不安や疑問を感じる。女性/20歳代/私・正

【1415】①臨時保育士が一人担任を持っており責任が大きい、結婚を事前に行っていたが、一人担任のクラス担任となり、負担が大きい。②個別のため嫌々でしるまうことや出張中、仕事中に限らず、発症してしまふことも多く、仕事に支障が出てしまふ。月経不調でも同じく支障が出ることもあり、周りに迷惑をかけてしまふことも多い。女性/20歳代/私・74

【1451】①保育士指針が変わり重要視すべき増えました。子どものためにやるのは当たり前でやるべきことだと思います。その分の賃金を出していただいています。すべて家に持ち帰っています。実勞75時間月給に保育が全てなので、書類をやる時間がありません。女性/30歳代/私・正

【1452】②臨時で働いた期間のオプション、抱っこは年休がきつくなってきました。女性/40歳代/私・正

【1453】③所長が理想ばかりを言い求め、現場を見にくく、不当な注意や叱咤けられれます。毎日仕事を辞めたいと思いません。古く保育のため「昔はよかった」と今の時代を所長達に受け入れられず大変です。③結婚はしたいのですが、妊娠はしづらく、代償保育士も人手が不足しています。代償さんがすぐ妊娠するシステムがほしいと思う。女性/20歳代/私・正

【1455】②平日現況などとしても今後も継続して働けるが心配。女性/40歳代/公・74

【1456】①勤務時間内に仕事（事務仕事や子ども）の状況把握、ケース記録、行事の準備）が終わることなく、1日2、3時間の残業は必要と状態である。保護者が自分のペースに子ども

担にからない曜日）、代休として土曜日1日を稼働しているが、保護者側から夜間への対応への理解がある。職員は権利として利用していただくことが目的はあるが、職員が自分の希望と利便とを認めるように説明が(も)受けていないのは、保育園・保育士の負担が多すぎる。そのような負担を分け合える環境があつてほしい。②親の育が子どもどもの育に影響を与えている現状が、園生活で子どもと士とのトラブルも頻発になってきているのを感じる。もっと質を保育をし、関わってあげたいのが保育士職員の本音である。子どもの親と保育士の最低限の意見と、希望を育育より別な子どもと違ふため、是非改善して欲しいと思う。女性/30歳代/私・74

【1463】①仕事で親は子どものごとだけにとどまらず、親の雰囲気、精神面までフォローしたりで保育士のフォローは膨らみ続けるのか？求めらるることがどんどん増える一方で休みもとにくく入浴や運動・身体が無気力たりと、女性が多い。職場のなにより大変なのは、給料面、休職面、子どもと保育士の割合など、何とかして欲しい！1アアンケートをどうか立ててください。②子どもと一緒にいれる仕事はともて楽しくステキなことです。自分がストレスにさらさる、安定して欲しい仕事にも影響があります。何とかして欲しい。女性/30歳代/私・正

【1473】①健康で年々ひんがくる。婦人科、肝臓、腎臓など病気がなつたことへの不安。女性/40歳代/不明・74

【1479】①(シ)について、若く職場の妊娠中や出産後、周りのサポートが薄く、仕事を諦めていく人が多い。小さい子どもを持つ正職員がらず、抱けたくても子どもがなくなるから見えす。②ペーと代替をさせていく。職員の、職員1人1人の負担が大きい。仕事は好きであるが、さらに園全体で周りをサポートし合える園であればいいと思う。女性/20歳代/私・正

【1481】①臨時保育士にも子どもにつききりで、書類の作成（園便り、クラス便り、月発表）や保育の準備などは全て残業（ピーク業務）のため、家に持ち帰っている。休職時間と便り記入に、食事は10〜15分までで済んでいる。仕事量が多い、書類が不安。園長が代わることが多く園長の実態をわかって欲しい。女性/20歳代/私・正

【1482】①園長職能によって仕事の内容がころと変化する点がある。またターゲットを決めると何回につけて文句（どうしようもない）を言う。現場の状況はわかればよいこと。園長に理想をおいかけ、逆に現場をひどくおぼろしくし、また意見を言う。言う動機に聞き入れてもらえず、自分の思い通りにしてもらいたい（健康、私はお前を何も考えずに、その通りにしなさい）ならぬ。理想や意見を何も考えずに、自分が間違っていたとしたとしても何とかなるからよにその話にはおぼろしく。ワランで気分。園長に気

づくと「そっちで決めて」とほったらかしにする。②明らかに残業していることがわかって、残業代はもらもらない。勤務時間内に行ける仕事はほとんどない。残業時間内、もしくは持ち帰り、労基の監査などで保育園にまわらされてもならない。どれだけ大変なかわかってはいるが、園長にも大変さをわかってもらいたい。むくわれない仕事は、なくない。ちゃんと評価をして欲しい。本来に労基の方には入らない。このアンケート、決して無断にはせず、世の中へ知らしめてください。女性/20歳代/私・正

【1483】①保育中に保育士の配置のためかおぼろしく。女性/20歳代/私・正

【1484】①公休や有休を取つづいて。休暇をもらいます。公休でも理由を聞か「ダメだ」と言われた職員も中にはいます。主任業務のほかに親を担任し、勉強にこなしていますが、「主任業務」の月に1時間くらいでこなすことができます。後継に引き継いだり仕事、用務さんの仕事も、「先生方は大変だからやってあげて」用務さんはパソコンが苦手だからやっています。自分ももっと強くなるため、全て引き受けてやっています。自分ももっと強くなる。いやいやいけ、皆をまとめる力が自分にならなければい。と日々奮闘しています。園長は理事長の顔ばかりで、仕事で責任を負っている先生方の体調の心配、仕事の配などはしてきません。調理員も1人なため、家族や両親も手伝ってきません。調理員も1人なため、家族や両親も手伝ってきません。調理員も1人なため、家族や両親も

【1484】①公休や有休を取つづいて。休暇をもらいます。公休でも理由を聞か「ダメだ」と言われた職員も中にはいます。主任業務のほかに親を担任し、勉強にこなしていますが、「主任業務」の月に1時間くらいでこなすことができます。後継に引き継いだり仕事、用務さんの仕事も、「先生方は大変だからやってあげて」用務さんはパソコンが苦手だからやっています。自分ももっと強くなるため、全て引き受けてやっています。自分ももっと強くなる。いやいやいけ、皆をまとめる力が自分にならなければい。と日々奮闘しています。園長は理事長の顔ばかりで、仕事で責任を負っている先生方の体調の心配、仕事の配などはしてきません。調理員も1人なため、家族や両親も手伝ってきません。調理員も1人なため、家族や両親も手伝ってきません。調理員も1人なため、家族や両親も

【1487】①女性の職能での考え方が遅い。おぼろしく。女性/30歳代/私・74

【1488】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1489】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1490】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1491】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1492】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1493】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1494】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1495】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1496】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1497】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1498】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1499】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

【1500】①子育て中の子どもの向き合う時間がないという。女性/30歳代/私・74

[illegible][illegible][illegible][illegible]

資料2 保育士アンケート集計結果一覧表

	性別	全体		性別		男性	女性・雇用形態			女性・年齢別			単位：人、%	
			女性	女性	男性		正規	パート非正規		20歳代	30歳代	40歳代		
								フル非正規	パート非正規					
性別	男性	2455	100.0											
	女性	74	3.0											
		2381	97.0											
	年齢	20歳代	2447	100.0	2373	100.0	74	100.0	1503	100.0	102	100.0		
		30歳代	880	36.0	846	35.7	34	45.9	459	30.5	376	49.1	9	8.8
		40歳代	646	26.4	613	25.8	33	44.6	422	28.1	159	20.8	32	31.4
		50歳代	548	22.4	544	22.9	4	5.4	359	23.9	145	18.9	40	39.2
		60歳以上	361	14.8	358	15.1	3	4.1	259	17.2	83	10.8	16	15.7
	(再掲)	20歳以上	12	0.5	12	0.5			4	0.3	3	0.4	5	4.9
		20歳未満	62.4						58.6		69.8			
20歳以上		2437	100.0	2364	100.0	73	100.0	1497	100.0	763	100.0	102	100.0	
20歳以上		638	34.4	614	34.4	24	32.9	572	38.2	220	28.8	21	20.6	
20歳以上		130	5.3	127	5.4	3	4.1	78	5.2	43	5.6	6	5.9	
居住地（総合選票 種・選民局別）	札幌（札幌市を除く）	172	7.1	172	7.3			110	7.3	53	6.9	9	8.8	
	道庁	22	0.9	21	0.9	1	1.4	12	0.8	9	1.2			
	旭川	115	4.7	112	4.7	3	4.1	68	4.5	36	4.7	8	7.8	
	空知	268	11.0	255	10.8	13	17.8	139	9.3	103	13.5	13	12.7	
	上川	14	0.6	14	0.6			6	0.4	4	0.5			
	留萌	50	2.1	48	2.0	2	2.7	35	2.3	11	1.4	2	2.0	
	オホーツク	130	5.3	124	5.2	6	8.2	70	4.7	45	5.9	8	7.8	
	胆振	162	6.6	162	6.9			93	6.2	65	8.5	4	3.9	
	日高	61	2.5	57	2.4	4	5.5	40	2.7	13	1.7	4	3.9	
	十勝	210	8.6	201	8.5	9	12.3	131	8.8	66	8.7	4	3.9	
現在勤める保育園 の運営主体	札幌	100	4.1	96	4.1	4	5.5	55	3.7	34	4.5	7	6.9	
	釧路	45	1.8	44	1.9	1	1.4	33	2.2	8	1.0	3	2.9	
	根室	2427	100.0	2353	100.0	74	100.0	1496	100.0	754	100.0	102	100.0	
	公営（市町村営）	819	33.7	788	33.5	31	41.9	474	31.7	284	37.7	30	29.4	
	社会福祉法人	1512	62.3	1470	62.5	42	56.8	955	63.8	449	59.5	65	63.7	
	学校法人	69	2.8	68	2.9	1	1.4	50	3.3	15	2.0	3	2.9	
	その他	27	1.1	27	1.1			17	1.1	6	0.8	4	3.9	
	保育士の合計人数	10人未満	2367	100.0	2295	100.0	72	100.0	1462	100.0	733	100.0	98	100.0
		10人以上	392	16.6	376	16.4	16	22.2	232	15.9	116	15.8	28	28.6
		15人以上未満	537	22.9	525	22.9	12	16.7	333	22.8	167	22.8	24	24.5
20人以上未満		702	29.7	684	29.8	18	25.0	436	28.8	225	30.7	23	23.5	
25人以上未満		430	18.2	415	18.1	15	20.8	265	18.1	133	18.1	16	16.3	
30人以上未満		189	8.0	185	8.1	4	5.6	125	8.5	55	7.5	5	5.1	
30人以上		117	4.9	110	4.8	7	9.7	71	4.9	37	5.0	2	2.0	
5人未満		345	14.6	336	14.6	9	12.5	171	11.7	134	18.3	31	31.6	
5人以上未満		1159	49.0	1118	48.7	41	56.9	683	46.7	388	52.9	46	46.9	
10人以上未満		716	30.2	698	30.4	18	25.0	500	34.2	177	24.1	20	20.4	
うち正規の保育士 の人数	15人以上未満	147	6.2	143	6.2	4	5.6	108	7.4	34	4.6	1	1.0	
	15人以上													
	15人以上													
	15人以上													
	15人以上													
	15人以上													
	15人以上													
	15人以上													
	15人以上													
	15人以上													

	全体	性別		女性・雇用形態				女性・年齢別			50歳代									
		女性	男性	正規	フル非正規	パート非正規	20歳代	30歳代	40歳代											
正規の保育士割合 40%未満 ～60%未満 ～80%未満 80%以上	2367	100.0	2295	100.0	72	100.0	1462	100.0	733	100.0	98	100.0	874	100.0	594	100.0	526	100.0	351	100.0
	522	22.1	608	22.1	14	19.4	251	17.2	226	30.8	30	30.6	172	21.4	121	20.4	136	25.9	76	21.7
	1076	45.5	1041	45.4	35	48.6	684	44.7	337	46.0	50	51.0	386	46.0	270	45.5	240	45.6	135	38.5
	558	23.6	542	23.6	16	22.2	389	26.6	138	18.8	14	14.3	189	23.5	149	25.1	104	8.7	97	27.6
	211	8.9	204	8.9	7	9.7	168	11.5	32	4.4	4	4.1	57	7.1	54	9.1	46	8.7	43	12.3
定員割れ ほぼ定員とおり 定員超過	1838	100.0	1788	100.0	50	100.0	1120	100.0	591	100.0	75	100.0	654	100.0	446	100.0	401	100.0	271	100.0
	448	24.4	430	24.0	18	38.0	270	24.1	132	22.3	28	37.3	105	16.1	91	20.4	111	27.7	114	42.1
	828	45.0	807	45.1	21	42.0	465	41.5	309	52.3	33	44.0	343	51.4	189	42.4	166	41.4	105	38.7
	562	30.6	551	30.8	11	22.0	385	34.4	150	25.4	14	18.7	206	31.5	166	37.2	124	30.9	52	19.2
	2450	100.0	2376	100.0	74	100.0	1506	100.0	766	100.0	102	100.0	844	100.0	613	100.0	542	100.0	357	100.0
現在の保育園での 3ヶ月未満 3～6ヶ月未満 6ヶ月～1年未満 1～3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満 20年以上	23	0.9	22	0.9	1	1.4	1	0.1	15	2.0	6	5.9	11	1.3	5	0.8	5	0.9	1	0.3
	50	2.0	50	2.1			8	0.5	38	5.0	4	3.9	30	3.6	7	1	12	2.2		
	171	7.0	163	6.9	8	10.8	45	3.0	103	13.4	13	12.7	107	12.7	24	3.9	20	3.7	12	3.4
	373	15.2	363	15.3	10	13.5	136	9.0	198	25.8	29	28.4	224	26.5	54	8.8	57	10.5	24	6.7
	345	14.1	329	13.8	16	21.6	177	11.8	142	18.5	10	9.8	218	25.8	57	9.3	43	7.9	11	3.1
	522	21.3	501	21.1	21	28.4	346	23.0	138	18.0	17	16.7	251	29.7	141	23.0	80	14.8	28	7.8
	325	13.3	317	13.3	8	10.8	238	15.8	69	9.0	10	9.8	2	0.2	223	36.4	65	12.0	26	7.3
	211	8.6	203	8.5	8	10.8	170	11.3	28	3.7	5	4.9			102	16.6	70	12.9	28	7.8
	430	17.6	428	18.0	2	2.7	385	25.6	35	4.6	8	7.8	1	0.1			190	35.1	227	63.6
	2450	100.0	2376	100.0	74	100.0	1506	100.0	766	100.0	102	100.0	844	100.0	613	100.0	542	100.0	357	100.0
他の保育園等での 3ヶ月未満 6ヶ月～1年未満 1～3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満 20年以上	15	0.6	15	0.6			3	0.2	11	1.4	2	2.0	12	1.4	1	0.2				
	72	2.9	67	2.8	5	6.8	12	0.8	51	6.7	2	2.0	66	7.8	1	0.2				
	225	9.2	218	9.2	7	9.5	74	4.9	127	16.6	17	16.7	188	22.3	16	2.6	9	1.7	5	1.4
	259	10.6	244	10.3	15	20.3	123	8.2	115	25.5	6	5.9	215	25.5	21	3.4	7	1.3	1	0.3
	558	22.8	532	22.4	26	35.1	316	21.0	193	25.2	23	22.5	360	42.7	129	21.0	38	7.0	5	1.4
雇用形態 正職員 フルタイムの非正規職員 パートタイムの非正規職員	2453	100.0	2379	100.0	74	100.0														
	1560	63.6	1509	63.4	51	68.9														
	791	32.2	768	32.3	23	31.1														
	102	4.2	102	4.3																
	2453	100.0	2379	100.0	74	100.0														
雇用形態（二区分）	1560	63.6	1509	63.4	51	68.9														
	893	36.4	870	36.6	23	31.1														

	全体	性別		女性・雇用形態		女性・年齢別					単位：人、%		
		女性	男性	正規	パート非正規		20歳代			30歳代		40歳代	50歳代
					フル非正規								
<非正規> 1年ごとの更新 雇用契約期間 その他	817 100.0	796 100.0	21 100.0		698 100.0	98 100.0	98 100.0	370 100.0	170 100.0	166 100.0	82 100.0		
	610 74.7	592 74.4	18 85.7		515 73.8	77 78.6	77 78.6	287 77.6	120 70.6	125 75.3	55 67.1		
	159 19.5	156 19.6	3 14.3		143 20.5	13 13.3	13 13.3	56 15.1	44 25.9	31 18.7	24 29.3		
	48 5.9	48 6.0			40 5.7	8 8.2	8 8.2	27 7.3	6 3.5	10 6.0	3 3.7		
<非正規> 雇い止 めに対する不安 あまり不安はない まったく不安はない	813 100.0	792 100.0	21 100.0		695 100.0	97 100.0	97 100.0	370 100.0	171 100.0	163 100.0	79 100.0		
	173 21.3	169 21.3	4 19.0		156 22.4	13 13.4	13 13.4	64 17.3	42 24.6	40 24.5	21 26.6		
	339 41.7	327 41.3	12 57.1		282 40.6	45 46.4	45 46.4	142 38.4	78 45.6	71 43.6	35 44.3		
	242 29.8	239 30.2	3 14.3		210 30.2	29 29.9	29 29.9	132 35.7	41 24.0	47 28.8	17 21.5		
<非正規> 正規へ の雇用形態希望 とくに希望していない	59 7.3	57 7.2	2 9.5		47 6.8	10 10.3	10 10.3	32 8.6	10 5.8	5 3.1	6 7.6		
	782 100.0	761 100.0	21 100.0		667 100.0	94 100.0	94 100.0	354 100.0	165 100.0	156 100.0	77 100.0		
	368 47.1	350 46.0	18 85.7		332 48.8	18 19.1	18 19.1	189 53.4	72 43.6	70 44.9	18 23.4		
	414 52.9	411 54.0	3 14.3		335 50.2	76 80.9	76 80.9	165 46.6	93 56.4	86 55.1	59 76.6		
普段の勤務での休 息取得状況 所定どおり取得できている 所定どおりではないがまあ取得でき ている あまり取得できていない まったく取得できていない	2395 100.0	2322 100.0	73 100.0	1484 100.0	748 100.0	88 100.0	88 100.0	831 100.0	600 100.0	531 100.0	342 100.0		
	604 25.2	584 25.2	20 27.4	332 22.4	202 27.0	48 54.5	48 54.5	208 25.0	145 24.2	124 23.4	100 29.2		
	660 27.6	640 27.6	20 27.4	389 26.2	235 31.4	16 18.2	16 18.2	212 25.5	159 26.5	152 28.6	111 32.5		
	619 25.8	601 25.9	18 24.7	428 28.8	162 21.7	11 12.5	11 12.5	201 25.3	168 28.0	138 26.0	81 23.7		
書写作成などは仕事 よくある ある たまにある ない	512 21.4	497 21.4	15 20.5	335 22.6	149 19.9	13 14.8	13 14.8	201 24.2	128 21.3	117 22.0	50 14.6		
	2406 100.0	2333 100.0	73 100.0	1490 100.0	754 100.0	87 100.0	87 100.0	836 100.0	603 100.0	533 100.0	343 100.0		
	919 40.7	947 40.6	32 43.8	707 47.4	235 31.2	5 5.7	5 5.7	356 42.6	252 41.8	216 40.5	118 34.4		
	589 24.5	568 24.3	21 28.8	383 25.7	174 23.1	10 11.5	10 11.5	189 22.6	137 22.7	137 25.7	99 28.9		
不払い労働(サー ビス残業)の有無 ある	590 24.5	577 24.7	13 17.8	328 22.0	228 30.2	20 23.0	20 23.0	212 25.4	142 23.5	127 23.8	83 27.1		
	248 10.3	241 10.3	7 9.6	72 4.8	117 15.5	52 59.8	52 59.8	79 9.4	72 11.9	53 9.9	33 9.6		
	2313 100.0	2241 100.0	72 100.0	1429 100.0	724 100.0	86 100.0	86 100.0	810 100.0	578 100.0	508 100.0	328 100.0		
	585 25.3	565 25.2	20 27.8	242 16.9	256 35.4	66 76.7	66 76.7	211 26.0	145 25.1	117 23.0	86 26.2		
1週間における不 払い労働時間数 5時間未満 ～10時間未満 ～15時間未満 15時間以上	1728 74.7	1676 74.8	52 72.2	1187 83.1	468 64.6	20 23.3	20 23.3	599 74.0	433 74.9	391 77.0	242 73.8		
	1375 100.0	1330 100.0	45 100.0	946 100.0	366 100.0	17 100.0	17 100.0	480 100.0	346 100.0	306 100.0	192 100.0		
	711 51.7	691 52.0	20 44.4	470 49.7	206 56.3	14 82.4	14 82.4	205 42.7	192 55.5	162 52.9	130 67.7		
	432 31.4	415 31.2	17 37.8	314 33.2	99 27.0	2 11.8	2 11.8	86 17.9	104 30.1	96 31.4	46 24.0		
46 3.3	186 13.5	181 13.6	5 11.1	137 14.5	44 12.0			67 17.9	43 12.4	38 12.4	12 6.3		
	46 3.3	43 3.2	3 6.7	25 2.6	17 4.6	1 5.9	1 5.9	22 4.6	7 2.0	10 3.3	4 2.1		

	全体	性別		女性・雇用形態				女性・年齢別				50歳代						
		女性	男性	正規	パート非正規		20歳代	30歳代	40歳代									
					フル非正規	パート非正規												
昨年度の有給休暇 10日以下 の付与日数（勤続 11～15日 16～39日 40日（以上） 1年未満は除く）	1846	100.0	1789	100.0	57	100.0	1227	100.0	509	100.0	53	100.0	491	100.0	447	100.0	309	100.0
	295	16.0	287	16.0	8	14.0	65	5.3	196	38.5	26	49.1	72	14.7	46	10.3	30	9.7
	249	13.5	244	13.6	5	8.8	99	8.1	127	23.0	18	34.0	143	27.0	44	9.8	9	2.9
	630	34.1	605	33.8	25	43.9	493	40.2	108	21.2	4	7.5	141	28.6	164	34.9	134	43.4
	163	8.8	157	8.8	6	10.5	112	9.1	43	8.4	2	3.8	66	12.5	45	9.2	7	2.1
	509	27.6	496	27.7	13	22.8	458	37.3	35	6.9	3	5.7	42	7.9	162	33.0	124	40.1
同、使用日数（勤 0日（不使用） 1年未満は除 く）	1846	100.0	1789	100.0	57	100.0	1227	100.0	509	100.0	53	100.0	491	100.0	447	100.0	309	100.0
	82	4.4	80	4.5	2	3.5	49	4.0	27	5.3	4	7.5	39	7.4	16	3.3	7	2.3
	184	10.0	174	9.7	10	17.5	108	8.8	60	11.8	6	11.3	78	14.7	47	9.2	24	7.8
	258	14.0	252	14.1	6	10.5	163	13.3	83	16.3	3	5.0	97	18.3	62	12.6	49	15.9
	569	30.8	549	30.7	20	35.1	384	31.3	149	29.3	16	30.2	192	36.2	124	29.3	85	27.5
賞金の支払い形態 月給 日給月給 時間給	2438	100.0	2364	100.0	74	100.0	1509	100.0	751	100.0	102	100.0	840	100.0	538	100.0	357	100.0
	2067	84.8	2001	84.6	66	89.2	1509	100.0	483	64.3	8	7.8	719	85.6	513	84.2	449	83.5
	240	9.8	234	9.9	6	8.1	219	29.2	219	29.2	15	14.7	93	11.1	59	9.7	43	8.0
	131	5.4	129	5.5	2	2.7	49	6.5	49	6.5	79	77.5	28	3.3	46	8.6	14	3.9
		2040	100.0	1977	100.0	63	100.0	1337	100.0	567	100.0	73	100.0	636	100.0	525	100.0	325
2009年の年収（税 込み、ボーナスや 賞手当の全てを含 む。勤続年未満 の者は除く）	65	3.2	64	3.2	1	1.6	7	0.5	27	4.8	30	41.1	17	2.7	18	3.4	20	4.2
	208	10.2	204	10.3	4	6.3	26	1.9	147	25.9	31	42.5	83	13.1	52	9.9	42	8.8
	315	15.4	307	15.5	8	12.7	103	7.7	200	35.3	4	5.5	188	29.2	56	10.7	44	9.2
	344	16.9	338	17.1	6	9.5	212	15.9	122	21.5	4	5.5	188	29.6	76	14.5	46	9.6
	250	12.3	239	12.1	11	17.5	208	15.6	30	5.3	1	1.4	100	15.7	82	15.6	37	7.8
賞金の支払い形態 月給 日給月給 時間給	270	13.2	260	13.2	10	15.9	245	18.3	15	2.6	1	1.4	8	1.3	122	23.2	65	13.6
	191	9.4	179	9.1	12	19.0	168	12.6	10	1.8	1	1.4	8	1.3	74	14.1	75	15.7
	397	19.5	386	19.5	11	17.5	368	27.5	16	2.8	2	2.7	89	0.0	45	8.6	148	31.0
	28.8	29.1	29.1	20.6	6	8.8	10.2	26.0	87.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5	94.5
		57.9	58.3	58.3	47.6	47.6	41.6	41.6	92.8	92.8	92.8	92.8	92.8	92.8	92.8	92.8	92.8	92.8
ア 仕事の内容・ やりがい	2422	100.0	2348	100.0	74	100.0	1488	100.0	757	100.0	101	100.0	834	100.0	606	100.0	538	100.0
	807	33.3	775	33.0	32	43.2	498	33.5	240	31.7	36	35.6	291	34.9	192	31.7	179	33.3
	604	25.3	578	25.3	26	33.7	370	24.9	229	30.3	32	31.7	276	33.1	220	36.3	165	30.7
	641	26.5	625	26.6	16	21.6	370	24.9	226	29.9	28	27.7	198	23.7	159	26.2	155	28.8
	131	5.4	131	5.6	6	8.1	81	5.4	47	6.2	3	3.0	58	7.0	26	4.3	28	5.2
イ 賃金	257	10.6	250	10.6	7	9.5	174	11.7	47	6.2	28	27.7	73	8.8	59	9.7	11	2.0
	327	13.5	322	13.7	5	6.8	227	15.3	71	9.4	24	23.8	115	13.8	78	12.9	74	13.8
	658	27.2	635	27.0	23	31.1	412	27.7	190	25.1	32	31.7	196	23.5	162	26.7	154	28.6
	677	28.0	662	28.2	15	20.3	396	26.6	254	30.3	12	11.9	93	31.5	177	29.2	142	26.4
	503	20.8	490	20.4	24	32.4	279	18.8	195	25.8	5	5.0	187	22.4	130	21.5	106	19.7

	全体	性別		女性・雇用形態			女性・年齢別				単位：人、%										
		女性	男性	正規	フル非正規	パート非正規	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代											
ウ. 労働時間・休日等の勤務体制	351 376 594 556 245	14.5 15.5 36.9 23.0 10.1	335 365 861 548 239	14.3 15.5 36.7 23.3 10.2	16 11 33 8 6	21.6 14.9 44.6 10.8 10.7	172 234 324 399 159	11.5 15.7 35.2 26.8 10.7	127 113 300 143 74	16.8 14.9 39.6 18.9 9.8	35 18 36 6 6	34.7 17.8 35.6 5.9 5.9	148 118 284 182 102	17.7 14.1 34.1 24.1 12.2	74 87 232 146 67	12.2 14.4 38.3 24.1 11.1	69 88 198 138 45	12.8 16.4 36.8 25.7 8.4	41 68 142 74 25	11.7 19.4 40.6 21.1 7.1	
	310 319 922 596 275	12.8 13.2 38.1 24.6 11.4	303 306 892 580 267	12.9 13.0 38.0 24.7 11.4	7 13 30 16 8	9.5 17.6 40.5 21.6 10.8	170 177 540 411 190	11.4 11.9 36.3 27.6 12.8	109 110 315 158 65	14.4 14.5 41.6 20.9 8.6	23 19 36 11 12	22.8 18.8 35.6 10.9 11.9	145 113 322 179 75	17.4 13.5 38.6 21.5 9.0	57 80 229 161 79	12.1 13.2 37.8 26.6 13.0	65 66 209 139 59	12.1 12.3 38.8 25.8 11.0	32 46 124 96 52	9.1 13.1 35.4 27.4 14.9	
	330 425 1245 326 96	13.6 17.5 51.4 13.5 4.0	321 407 1210 316 94	13.7 17.3 51.5 13.5 4.0	9 18 35 10 2	12.2 24.3 47.3 13.5 2.7	204 285 731 208 59	13.7 19.2 49.1 14.0 4.0	105 109 418 95 30	13.9 14.4 55.2 12.5 4.0	11 13 61 11 5	10.9 12.9 60.4 10.9 5.0	156 150 417 84 27	18.7 18.0 50.0 10.1 3.2	67 108 333 74 23	12.5 16.2 55.0 16.4 3.9	25 28 173 69 20	8.0 17.1 49.4 19.7 5.7			
	カ. 職場の人間関係、コミュニケーション	473 627 908 287 127	19.5 25.9 37.5 11.8 5.2	460 610 876 279 123	19.6 26.0 37.3 11.9 5.2	13 17 32 8 4	17.6 23.0 43.2 10.8 5.4	267 403 563 182 73	17.9 27.1 37.8 12.2 4.9	166 188 275 83 45	21.9 24.8 36.3 11.0 5.9	27 18 38 13 5	26.7 25.8 37.6 12.9 5.0	210 235 244 101 44	25.2 28.2 29.3 12.1 5.3	118 160 243 58 27	19.5 26.4 40.1 9.6 4.5	69 115 293 71 32	12.5 21.4 48.3 11.7 5.9	43 88 152 50 14	12.3 25.1 43.4 14.3 3.7
	キ. 職業生活全体	330 562 1132 331 67	13.6 23.2 46.7 13.7 2.8	319 539 1102 322 66	13.6 23.0 46.9 13.7 2.8	11 23 30 9 1	14.9 31.1 40.5 12.2 1.4	188 352 702 204 42	12.6 23.7 47.2 13.7 2.8	107 165 355 109 21	14.1 21.8 46.9 14.4 2.8	24 21 44 9 3	23.8 192 40.6 8.9 3.0	146 192 355 115 26	17.5 23.0 42.6 13.8 3.1	69 150 293 71 23	12.5 21.4 49.6 11.7 2.0	33 74 182 152 5	9.4 21.1 49.6 56 1.4	55.7 6.3 2.9 20.0 0.3	
満足度D1（満足・やや満足・やや不満・不満） ア. 賃金 イ. 労働時間・休日等の勤務体制 エ. 職員の配置状況 オ. 研修や教育訓練・能力開発のあり方 カ. 職場の人間関係、コミュニケーション キ. 職業生活全体	59.5 24.6 3.1 10.0 13.7 28.3 20.4	58.9 24.2 3.7 10.1 13.5 28.4 20.0	78.4 36.5 17.6 5.4 20.3 24.3 32.4	61.3 18.4 10.2 17.1 14.9 27.9 19.8	53.8 43.7 3.0 0.5 11.8 29.9 18.8	62.4 34.7 40.6 18.8 7.9 26.7 32.7	59.7 31.4 2.2 0.5 23.4 36.0 23.6	62.2 28.1 8.6 17.0 13.0 31.8 20.6	56.7 20.8 4.8 12.5 8.4 19.7 17.3	55.7 6.3 2.9 20.0 0.3 18.3 13.1											

	全体	性別		女性・雇用形態			女性・年齢別				単位：人、%	
		女性	男性	正規	フル非正規	パート非正規	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代		
ア. 養育困難な保護者が増えている イ. 保護者の間に就労不安定・低所得 という問題がみられる ウ. 一人親世帯が増えている エ. 子どもの貧困の問題が生じている オ. 育児不安や育児ストレスに悩む保 護者が増えている カ. 虐待・ネグレクトのケース（嫌わ しいケースも含む）が増えている キ. アレルギーマシ、障がい児など特別 のケアが必要な子どもが増えている	2441 100.0	2367 100.0	74 100.0	1501 100.0	763 100.0	101 100.0	840 100.0	613 100.0	541 100.0	353 100.0		
	1021 41.8	990 41.8	31 41.9	689 45.9	269 35.3	32 31.7	289 34.4	269 43.9	242 44.7	182 51.6		
	715 29.3	684 28.9	31 41.9	464 30.9	197 25.8	22 21.8	224 26.7	150 24.5	139 25.7	160 45.3		
	1355 55.5	1312 55.4	43 58.1	844 56.2	418 54.8	49 48.5	490 58.3	308 50.2	290 53.6	214 60.6		
	135 5.5	127 5.4	8 10.8	95 6.3	29 3.8	3 3.0	35 4.2	37 6.0	22 4.1	30 8.5		
	1114 45.6	1068 45.1	46 62.2	727 48.4	313 41.0	28 27.7	360 42.9	277 45.2	241 44.5	181 51.3		
	563 23.1	545 23.0	18 24.3	388 25.8	140 18.3	17 16.8	150 17.9	143 23.3	140 25.9	110 31.2		
	1792 73.4	1735 73.3	57 77.0	1134 75.5	538 70.5	62 61.4	568 67.6	451 73.6	419 77.4	283 80.2		
	労働条件・仕事の 負担に関する悩 み・不安・不満等 イ. 正職員になれ ない・なるのが困 難 ウ. 就労期間・年 数に上限が設けら れている エ. 勤務が不規則 である オ. 拘束・労働時 間が長い カ. 休日出勤があ る キ. 休日がとりに くい・とれない ク. 有給休暇がと りにくい ケ. 休前が短くも 休めない コ. 人手不足や時 間が足りずに適 切な保育が困難 だったり負担が大 きい サ. 特別なケアが 必要な子どもへ の保育負担が大 きい シ. 結婚や出産を 断念するを得な い雰囲気がある ス. 仕事内容のわ りに賃金水準が 低い セ. 正牌職員と同 じ仕事をしてい るのに処遇の大 きい ソ. 保護という仕 事に対する社会 的評判 タ. 保育の環境・ 施設のハード面 で支障がある チ. 体力や健康面 に不安がある ツ. 仕事上の安全 への配慮がない テ. 上司からのセ クハラやパワハ ラがある ト. 上司との人間 関係がうまくい かない	2441 100.0	2367 100.0	74 100.0	1501 100.0	763 100.0	101 100.0	840 100.0	613 100.0	541 100.0	353 100.0	
			261 34.2	28 27.7								
		332 43.5	20 19.8									
		82 10.7	5 5.0									
230 9.4		222 9.4	8 10.8	152 10.1	61 8.0	8 7.9	83 9.9	57 9.3	43 7.9	37 10.5		
302 12.4		294 12.4	8 10.8	196 13.1	94 12.3	3 3.0	127 15.1	65 10.6	62 11.5	39 11.0		
164 6.7		160 6.8	4 5.4	111 7.4	43 5.6	5 5.0	74 8.8	35 5.7	26 4.8	23 6.5		
842 34.5		816 34.5	26 35.1	588 37.8	237 31.1	10 9.9	340 40.5	211 34.4	163 30.1	98 27.8		
942 38.6		908 38.4	34 46.9	637 42.4	264 34.6	7 6.9	397 47.3	237 38.7	162 29.9	106 30.0		
396 16.2		388 16.4	8 10.8	266 17.7	109 14.3	12 11.9	158 18.8	104 17.0	80 14.8	41 11.6		

	全体	性別		女性・雇用形態			女性・年齢別				単位：人、%									
		女性	男性	正規	フル非正規	パート非正規	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代										
ナ、同様との間の人間関係がうまくいかない 二、保護者との信頼関係づくりが難しい ス、保護者からの苦情あるいは対応困難な注文等が負担である ネ、その他	168	6.9	161	6.8	7	9.5	105	7.0	46	6.0	9	8.9	50	6.0	36	5.9	42	7.8	31	8.8
	575	23.6	562	23.7	13	17.6	396	26.4	154	20.2	11	10.9	196	23.3	134	21.9	115	21.3	109	30.9
	460	18.8	452	19.1	8	10.8	352	23.5	92	12.1	7	6.9	140	16.7	125	20.4	107	19.8	75	21.2
	31	1.3	30	1.3	1	1.4	24	1.6	6	0.8			10	1.2	10	1.6	4	0.7	6	1.7
	2305	100.0	2233	100.0	72	100.0	1438	100.0	703	100.0	91	100.0	782	100.0	583	100.0	513	100.0	336	100.0
二、就労での保育増している 士の勤務負担の増 とくに変化はない 増 減	1542	66.9	1493	66.9	49	68.1	1036	72.0	407	57.9	49	53.8	436	55.8	397	68.1	379	73.9	269	80.1
	731	31.7	708	31.7	23	31.9	383	26.6	288	41.0	37	40.7	337	43.1	173	29.7	125	24.4	67	19.9
	32	1.4	32	1.4			19	1.3	8	1.1	5	5.5	9	1.2	13	2.2	9	1.8		
	2383	100.0	2311	100.0	72	100.0	1462	100.0	750	100.0	97	100.0	830	100.0	589	100.0	534	100.0	338	100.0
	495	20.8	480	20.8	15	20.8	308	21.1	152	20.3	20	20.6	216	26.0	130	22.1	93	17.4	38	11.2
職場での仕事に関する悩み等の発生・相談の機会	1375	57.7	1337	57.9	38	52.8	864	59.1	418	55.7	54	55.7	416	50.1	353	59.9	330	61.8	225	66.6
	449	18.8	430	18.6	19	26.4	260	17.8	149	19.9	20	20.6	173	20.8	85	14.4	102	19.1	67	19.8
	64	2.7	64	2.8			30	2.1	31	4.1	3	3.1	25	3.0	21	3.6	9	1.7	8	2.4
	2366	100.0	2294	100.0	72	100.0	1452	100.0	744	100.0	96	100.0	823	100.0	588	100.0	528	100.0	338	100.0
	285	12.0	275	12.0	10	13.9	184	12.7	85	11.4	6	6.3	133	16.2	67	11.4	48	9.1	26	7.7
離職・転職を考 えることとの有無 たまにある とくにない	374	15.8	362	15.8	12	16.7	212	14.6	136	18.3	13	13.5	164	19.9	92	15.6	59	11.2	45	13.3
	826	34.9	806	35.1	20	27.8	507	34.9	270	36.3	29	30.2	284	34.5	230	39.1	184	34.8	103	30.5
	881	37.2	851	37.1	30	41.7	549	37.8	253	34.0	48	50.0	242	29.4	199	33.8	237	44.9	164	48.5
	2367	100.0	2295	100.0	72	100.0	1455	100.0	741	100.0	98	100.0	817	100.0	589	100.0	531	100.0	339	100.0
	698	29.5	680	29.6	18	25.0	509	35.0	145	19.6	26	26.5	143	17.5	177	30.1	188	35.4	163	48.1
現行の保育士の配置基準に対する評価 とくに問題はない よくわからない (再掲)	1192	50.4	1155	50.4	37	51.4	703	48.3	403	54.4	48	49.0	415	50.8	316	53.7	277	52.2	142	41.9
	386	16.3	372	16.2	14	19.4	198	13.6	157	21.2	17	17.3	207	25.3	79	13.4	55	10.4	28	8.3
	91	3.8	88	3.8	3	4.2	45	3.1	36	4.9	7	7.1	52	6.4	17	2.9	11	2.1	6	1.8
	79.8		80.0		76.4		83.3		74.0		75.5		68.3		83.7		87.6		90.0	
	（再掲）	不十分である計																		

	全体	性別		女性・雇用形態				女性・年齢別				単位：人、%								
		女性	男性	正規	パート非正規		20歳代	30歳代		40歳代	50歳代									
					フル非正規	パート非正規														
仕事による「身 体」の疲れ とても疲れる やや疲れる あまり疲れない まったく疲れない どちらともいえない	2388	100.0	2316	100.0	72	100.0	1462	100.0	753	100.0	99	100.0	834	100.0	593	100.0	533	100.0	338	100.0
	787	33.0	774	33.4	13	18.1	537	36.7	217	28.8	20	20.2	239	28.7	196	32.9	202	37.9	132	39.1
	1399	58.6	1353	58.4	46	63.5	824	56.4	461	61.2	66	66.1	504	60.4	348	58.6	303	56.8	188	55.6
	164	6.9	151	6.5	13	18.1	75	5.1	65	8.8	11	11.1	78	9.4	33	5.7	25	4.7	13	3.8
	30	1.3	30	1.3	3	4.1	3	0.2	4	0.5	1	1.0	7	0.8	1	0.2	1	0.3	1	0.3
仕事による「精 神」の疲れ とても疲れる やや疲れる あまり疲れない まったく疲れない どちらともいえない	2388	100.0	2316	100.0	72	100.0	1462	100.0	753	100.0	99	100.0	834	100.0	593	100.0	533	100.0	338	100.0
	927	38.8	905	39.1	22	30.6	635	43.4	256	34.0	14	14.1	299	35.9	229	38.6	221	41.5	149	44.1
	1255	52.6	1212	52.3	43	59.7	735	50.3	406	53.9	69	69.7	448	53.7	311	52.4	271	50.8	173	51.2
	178	7.5	171	7.4	7	9.7	73	5.0	84	11.2	14	14.1	78	9.4	39	6.6	38	7.1	14	4.1
	10	0.4	10	0.4	0	0.0	6	0.4	2	0.3	2	2.0	5	0.6	4	0.7	1	0.2	1	0.3
最近の疲労の回復 （睡眠をとればよい疲労は回復 する） 翌朝に前日の疲労を持ちこすことがと きどきある 翌朝に前日の疲労を持ちこすことがよ くある 翌朝に前日の疲労をいつも持ちこして いる	2387	100.0	2315	100.0	72	100.0	1463	100.0	751	100.0	99	100.0	831	100.0	589	100.0	535	100.0	340	100.0
	516	21.6	488	21.1	28	38.9	258	17.6	193	25.7	37	37.4	205	24.7	124	21.1	85	17.8	59	17.4
	997	41.8	973	42.0	24	33.3	618	42.2	321	42.7	32	32.3	372	44.8	244	41.4	210	39.3	137	40.3
	560	23.5	545	23.5	15	20.8	388	25.2	157	20.9	20	20.2	178	21.4	148	25.1	139	26.0	77	22.6
	314	13.2	309	13.3	5	6.9	219	15.0	80	10.7	10	10.1	76	9.1	73	12.4	91	17.0	67	19.7
(再掲) 疲労高蓋精糖	36.6		36.9		27.8		40.1		31.6		30.3		30.6		37.5		43.0		42.4	
持病（医師から診 ア、胃腸病 断されたもの）の イ、高血圧 有無（複数回答 ウ、心臓病 可） エ、糖尿病 オ、腰痛 カ、腎臓病 キ、老眼 ク、高脂血症（高コレステロール血症等） ケ、その他	2404	100.0	2332	100.0	72	100.0	1475	100.0	755	100.0	100	100.0	834	100.0	595	100.0	537	100.0	346	100.0
	68	2.8	66	2.8	2	2.8	39	2.6	24	3.2	3	3.0	12	1.4	13	2.2	22	4.1	19	5.5
	92	3.8	91	3.9	1	1.4	64	4.3	24	3.2	3	3.0	2	0.2	4	0.7	37	6.9	46	13.3
	18	0.7	18	0.8	0	0.0	17	1.2	1	0.1	0	0.0	2	0.2	2	0.3	6	1.1	8	2.3
	14	0.6	14	0.6	0	0.0	11	0.7	3	0.4	0	0.0	2	0.2	4	0.7	4	0.7	4	1.2
	12	0.5	10	0.4	2	2.8	7	0.5	3	0.4	0	0.0	1	0.1	1	0.2	4	0.7	4	1.2
	493	20.5	479	20.5	14	19.4	327	22.2	136	18.0	16	16.0	100	12.0	121	20.3	141	26.3	110	31.8
	127	5.3	126	5.4	1	1.4	97	5.9	35	4.6	4	4.0	4	0.5	3	0.5	29	7.6	79	22.8
	102	4.2	97	4.2	5	6.9	72	4.9	22	2.9	3	3.0	4	0.5	3	0.5	23	5.4	57	16.5
	300	12.5	294	12.6	6	8.3	191	12.9	91	12.1	11	11.0	85	10.2	71	11.9	83	15.5	51	14.7
健康や体力面での 不安がある 不安がある あまり不安はない まったく不安はない	2371	100.0	2300	100.0	71	100.0	1454	100.0	744	100.0	100	100.0	824	100.0	589	100.0	526	100.0	342	100.0
	201	8.5	199	8.7	2	2.8	142	9.8	52	7.0	5	5.0	39	4.7	46	7.8	57	10.8	55	16.1
	1085	45.8	1068	46.4	17	23.9	732	50.3	394	39.5	41	41.0	262	31.8	268	45.5	315	59.9	213	62.3
	953	40.2	913	39.7	40	56.3	523	36.0	340	45.7	49	49.0	249	30.3	249	42.3	147	21.1	72	21.1
	132	5.6	120	5.2	12	16.9	57	3.9	58	7.8	5	5.0	84	10.2	26	4.4	7	1.3	2	0.6

	運営主体別					公営・雇用形態別				社会福祉法人・雇用形態別				単位：人、%						
	公営（市町村営）		社会福祉法人		学校法人	その他	正規	フル非正規	パート非正規	パート非正規	正規	フル非正規	パート非正規							
	公営	（市町村営）	社会福祉法人	社会福祉法人	学校法人	その他	正規	フル非正規	パート非正規	パート非正規	正規	フル非正規	パート非正規							
性別	819	100.0	1512	100.0	69	100.0	27	100.0	497	100.0	292	100.0	30	100.0	983	100.0	463	100.0	65	100.0
男性	31	3.8	42	2.8	1	1.4			23	4.6	8	2.7			28	2.8	14	3.0		
女性	788	96.2	1470	97.2	68	98.6	27	100.0	474	95.4	284	97.3	30	100.0	955	97.2	449	97.0	65	100.0
年齢	815	100.0	1509	100.0	69	100.0	27	100.0	494	100.0	291	100.0	30	100.0	981	100.0	462	100.0	65	100.0
20歳代	166	20.4	657	43.5	38	55.1	4	14.8	63	12.8	101	34.7	2	6.7	373	38.0	276	59.7	7	10.8
30歳代	208	25.5	413	27.4	13	18.8	9	33.3	124	25.1	75	25.8	9	30.0	315	32.1	79	17.1	19	29.2
40歳代	206	25.3	311	20.6	12	17.4	11	40.7	131	26.5	67	23.0	8	26.7	212	21.6	70	15.2	29	44.6
50歳代	231	28.3	121	8.0	6	8.7	2	7.4	176	35.6	47	16.2	8	26.7	78	8.0	35	7.6	8	12.3
60歳以上	4	0.5	7	0.5			1	3.7			1				3	0.3	2	0.4	2	3.1
(再掲) 40歳未満		45.9		70.9		73.9		48.1		37.9		60.5		36.7		70.1		76.8		40.0
居住地（総合振興 圏・振興局別）	806	100.0	1507	100.0	69	100.0	27	100.0	487	100.0	289	100.0	30	100.0	980	100.0	461	100.0	65	100.0
札幌市	49	6.1	755	50.1	24	34.8	1	3.7	40	8.2	9	3.1			525	53.6	210	45.6	20	30.8
石狩（札幌市を除く）	61	7.6	59	3.9	10	14.5			32	6.6	27	9.3	2	6.7	37	3.8	18	3.9	4	6.2
渡島	40	5.0	118	7.8	2	2.9	9	33.3	31	6.4	8	2.8	1	3.3	72	7.3	42	9.1	4	6.2
樺山	22	2.7							13	2.7	9	3.1								
後志	48	6.0	61	4.0			6	22.2	39	8.0	8	2.8	1	3.3	28	2.9	26	5.6	7	10.8
空知	64	7.9	44	2.9	8	11.6	2	7.4	25	5.1	32	11.1	7	23.3	26	2.7	16	3.5	2	3.1
上川	84	10.4	162	10.7	10	14.5	7	25.9	40	8.2	38	13.1	6	20.0	94	9.6	61	13.2	7	10.8
留萌	10	1.2	4	0.3					5	1.0	3	1.0	2	6.7	1	0.1	1	0.2	2	3.1
宗谷	36	4.5			13	18.8			30	6.2	6	2.1								
オホーツク	87	10.8	43	2.9					44	9.0	38	13.1	5	16.7	31	3.2	8	1.7	3	4.6
胆振	85	10.5	74	4.9	1	1.4			50	10.3	33	11.4	2	6.7	41	4.2	31	6.7	2	3.1
日高	32	4.0	29	1.9					18	3.7	14	4.8			24	2.4	1	0.2	4	6.2
十勝	110	13.6	97	6.4	1	1.4			65	13.3	44	15.2	1	3.3	71	7.2	23	5.0	3	4.6
釧路	39	4.8	57	3.8			2	7.4	26	5.3	13	4.5			27	2.8	23	5.0	7	10.8
根室	39	4.8	4	0.3					29	6.0	7	2.4	3	10.0	3	0.3	1	0.2		
現在勤める保育園 の運営主体																				
公営（市町村営）																				
社会福祉法人																				
学校法人																				
その他																				
保育士の合計人数	798	100.0	1452	100.0	68	100.0	26	100.0	483	100.0	285	100.0	30	100.0	952	100.0	438	100.0	61	100.0
10人未満	273	34.2	100	6.9	9	13.2	7	26.9	174	36.0	87	30.5	12	40.0	62	6.5	26	5.9	12	19.7
～15人未満	203	25.4	296	20.4	32	47.1	12	46.2	127	26.3	63	22.1	13	43.3	187	19.6	97	22.1	11	18.0
～20人未満	180	22.6	483	33.3	20	29.4	4	15.4	100	20.7	77	27.0	3	10.0	316	33.2	148	33.8	19	31.1
～25人未満	78	9.8	337	23.2	5	7.4	4	15.4	45	9.3	32	11.2	1	3.3	223	23.4	100	22.8	14	23.0
～30人未満	29	3.6	157	10.8	1	1.5	1	3.8	14	2.9	14	4.9	1	3.3	112	11.8	41	9.4	4	6.6
30人以上	35	4.4	79	5.4	1	1.5	2	7.7	23	4.8	12	4.2			52	5.5	26	5.9	1	1.6
うち正規の保育士 の人数	224	28.1	103	7.1	13	19.1	2	7.7	120	24.8	87	30.5	17	56.7	50	5.3	40	9.1	13	21.3
～10人未満	422	52.9	697	48.0	17	25.0	13	50.0	262	54.2	149	52.3	11	36.7	426	44.7	240	54.8	30	49.2
～15人未満	119	14.9	542	37.3	38	55.9	8	30.8	77	15.9	41	14.4	1	3.3	391	41.1	133	30.4	18	29.5
15人以上	33	4.1	110	7.6	3	4.4	3	11.5	24	5.0	8	2.8	1	3.3	85	8.9	25	5.7		

	運営主体別				公営・雇用形態別			社会福祉法人・雇用形態別			単位：人、%	
	公営（市町村 営）	社会福祉法人	学校法人	その他	正規	パート非正 規	フル非正規	正規	パート非正 規	フル非正規	パート非正 規	フル非正 規
正規の保育士割合 40%未満 ～60%未満 ～80%未満 80%以上	798 100.0 216 27.1 274 34.3 206 25.8 102 12.8	1452 100.0 280 19.3 764 52.6 325 22.4 83 5.7	68 100.0 22 32.4 6 8.8 18 26.5 22 32.4	26 100.0 1 3.8 18 69.2 6 23.1 1 3.8	483 100.0 99 20.5 158 32.7 143 29.6 83 17.2	285 100.0 108 37.9 98 34.4 62 21.8 17 6.0	952 100.0 148 15.5 500 52.5 238 25.0 66 6.9	438 100.0 112 25.6 237 54.1 74 16.9 15 3.4	61 100.0 19 31.1 27 44.3 13 21.3 2 3.3			
定員超過状況 定員割れ ほぼ定員どおり 定員超過	699 100.0 325 46.5 293 41.9 81 11.6	1047 100.0 107 10.2 484 46.2 456 43.6	50 100.0 6 12.0 32 64.0 12 24.0	24 100.0 6 25.0 12 50.0 6 25.0	432 100.0 214 49.5 167 38.7 51 11.8	244 100.0 96 39.3 119 48.8 29 11.9	658 100.0 15 65.2 7 30.4 1 4.3	342 100.0 35 10.2 189 55.3 118 34.5	46 100.0 10 21.7 24 52.2 12 26.1			
現在の保育園での 勤続年数 3ヶ月未満 6ヶ月～1年未満 1～3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満 20年以上	816 100.0 8 1.0 19 2.3 51 6.3 111 13.6 83 10.2 115 14.1 96 11.8 83 10.2 250 30.6	1510 100.0 12 0.8 26 1.7 106 7.0 220 14.6 241 16.0 390 25.8 220 14.6 125 8.3 170 11.3	69 100.0 2 2.9 4 5.8 8 11.6 29 42.0 13 18.8 7 10.1 2 2.9 1 1.4 3 4.3	27 100.0 1 3.7 4 14.8 6 22.2 2 7.4 5 18.5 5 18.5 1 3.7 3 11.1	495 100.0 2 0.4 17 3.4 30 8.1 31 6.3 59 11.9 61 12.3 64 12.9 221 44.6	291 100.0 6 2.1 15 5.2 30 10.3 64 22.0 48 16.5 55 18.9 32 11.0 16 5.5 25 8.6	982 100.0 3 6.7 22 6.7 23 2.3 77 7.8 142 14.5 294 29.9 177 18.0 110 11.2 156 15.9	462 100.0 9 1.9 22 4.8 73 15.8 124 26.8 93 20.1 81 17.5 37 8.0 13 2.8 10 2.2	65 100.0 3 4.6 1 1.5 9 13.8 19 29.2 6 9.2 15 23.1 6 9.2 2 3.1 4 6.2			
他の保育園等での 経験も含む就労経 験年数 3ヶ月未満 6ヶ月～1年未満 1～3年未満 3～5年未満 5～10年未満 10～15年未満 15～20年未満 20年以上	816 100.0 2 0.2 4 0.5 13 1.6 48 5.9 57 7.0 135 16.5 119 14.6 109 13.4 329 40.3	1510 100.0 9 0.6 52 3.4 148 9.8 268 10.2 404 26.8 274 18.1 184 12.2 254 16.8	69 100.0 1 1.4 4 5.8 23 33.3 12 17.4 10 14.5 4 5.8 4 5.8 11 15.9	27 100.0 1 3.7 1 3.7 1 3.7 5 18.5 5 18.5 5 18.5 5 18.5	495 100.0 1 0.2 3 0.6 12 2.4 18 3.6 52 10.5 62 12.5 70 14.1 277 56.0	291 100.0 2 0.7 9 3.1 31 10.7 37 12.7 77 26.5 53 18.2 35 12.0 47 16.2	982 100.0 2 6.7 1 3.3 7 0.7 46 4.7 102 10.4 275 28.0 201 20.5 136 13.8 214 21.8	462 100.0 8 1.7 43 9.3 91 19.7 80 17.3 113 24.5 54 11.7 41 8.9 32 6.9	65 100.0 1 1.5 11 16.9 3 4.6 16 24.6 20 29.2 7 10.8 8 12.3			
雇用形態 正職員 フルタイムの非正規職員 パートタイムの非正規職員	819 100.0 497 60.7 292 35.7 30 3.7	1511 100.0 983 65.1 463 30.6 65 4.3	69 100.0 50 72.5 16 23.2 3 4.3	27 100.0 17 63.0 6 22.2 4 14.8								
雇用形態（二区 分） 正規 非正規	819 100.0 497 60.7 322 39.3	1511 100.0 983 65.1 528 34.9	69 100.0 50 72.5 19 27.5	27 100.0 17 63.0 10 37.0								

	運営主体別				公営・雇用形態別		社会福祉法人・雇用形態別		単位：人、%								
	公営（市町村営）	社会福祉法人	学校法人	その他	正規	パート非正規	正規	パート非正規									
	＜正規＞1回の更新	290	100.0	487	100.0	18	100.0	10	100.0	261	100.0	29	100.0	425	100.0	62	100.0
	＜非正規＞1回の更新	144	49.7	429	88.1	17	94.4	9	90.0	129	49.4	15	51.7	373	87.8	56	90.3
	雇用契約期間	131	45.2	25	5.1	1	5.6	1	10.0	121	46.4	10	34.5	23	5.4	2	3.2
	その他	15	5.2	33	6.8					11	4.2	4	13.8	29	6.8	4	6.5
		290	100.0	483	100.0	18	100.0	10	100.0	261	100.0	29	100.0	422	100.0	61	100.0
	＜正規＞雇用止	83	28.6	84	17.4	3	16.7	1	10.0	78	29.9	5	17.2	78	18.5	6	9.8
	非常に不安がある	121	41.7	202	41.8	7	38.9	5	50.0	109	41.8	12	41.4	172	40.8	30	49.2
	不安がある	65	22.4	161	33.3	7	38.9	3	30.0	58	22.2	7	24.1	141	33.4	20	32.8
	あまり不安はない	21	7.2	36	7.5	1	5.6	1	10.0	16	6.1	5	17.2	31	7.3	5	8.2
	まったく不安はない	272	100.0	472	100.0	18	100.0	10	100.0	245	100.0	27	100.0	412	100.0	60	100.0
	＜非正規＞正規へ	118	43.4	233	49.4	8	44.4	5	50.0	110	44.9	8	29.6	224	54.4	9	15.0
	希望している	154	56.6	239	50.6	10	55.6	5	50.0	135	55.1	19	70.4	188	45.6	51	85.0
	＜非正規＞正規への雇用転換希望	790	100.0	1483	100.0	67	100.0	27	100.0	482	100.0	23	100.0	974	100.0	450	100.0
	普段の勤務での休憩取得状況	252	31.9	317	21.4	22	32.8	5	18.5	141	29.3	101	35.4	180	18.5	99	22.0
	所定どおりではないがまあ取得できている	238	30.1	393	26.5	14	20.9	8	29.6	140	29.0	89	31.2	239	24.5	148	32.9
	所定どおりではないがまあ取得できている	166	21.0	423	28.5	15	22.4	7	25.9	115	23.9	49	17.2	2	8.7	308	31.6
	あまり取得できていない	134	17.0	350	23.6	16	23.9	7	25.9	86	17.8	46	16.1	2	8.7	247	25.4
	まったく取得できていない	797	100.0	1487	100.0	67	100.0	27	100.0	489	100.0	23	100.0	974	100.0	455	100.0
	書類作成など仕事	287	36.0	652	43.1	17	25.4	8	29.6	219	44.8	67	23.5	1	4.3	483	49.6
	ある	191	24.0	373	25.1	15	22.4	4	14.8	116	23.7	70	24.6	5	21.7	268	27.5
	の持ち帰り状況	222	27.9	329	22.1	24	35.8	8	29.6	127	26.0	90	31.6	15	21.7	184	18.9
	たまにある	97	12.2	133	8.9	11	16.4	7	25.9	27	5.5	58	20.4	12	52.2	39	4.0
	ない	757	100.0	1438	100.0	63	100.0	27	100.0	464	100.0	270	100.0	941	100.0	440	100.0
	不払い労働（サニ	206	27.2	333	23.2	27	42.9	12	44.4	82	17.7	109	40.4	15	65.2	144	15.3
	ない	551	72.8	1105	76.8	36	57.1	15	55.6	382	82.3	161	59.6	8	34.8	797	84.7
	の賃金	429	100.0	894	100.0	28	100.0	11	100.0	307	100.0	115	100.0	7	100.0	639	100.0
	5時間未満	254	59.2	435	48.7	11	39.3	7	63.6	174	56.7	73	63.5	7	100.0	298	46.6
	～10時間未満	119	27.7	295	33.0	9	32.1	3	27.3	92	30.0	27	23.5	224	35.1	69	28.0
	15時間未満	41	9.6	135	15.1	7	25.0	1	9.1	32	10.4	9	7.8	100	15.6	35	14.2
	15時間以上	15	3.5	29	3.2	1	3.6	1	9.1	9	2.9	6	5.2	17	2.7	1	4.5

	運営主体別					公営・雇用形態別				社会福祉法人・雇用形態別				単位：人、%
	公営（市町村 営）	社会福祉法人	学校法人	その他		正規	フル非正規	パート非正 規	正 規	フル非正規	パート非正 規			
昨年度の有給休暇 10日以下 の付与日数（勤続 11～15日 1年未満は除く）	663 100.0	1106 100.0	43 100.0	17 100.0		443 100.0	210 100.0	10 100.0	775 100.0	291 100.0	40 100.0			
	107 16.1	179 16.2	4 9.3	2 11.8		6 1.4	96 45.7	5 50.0	56 7.2	102 35.1	21 52.5			
	45 6.8	166 15.0	32 74.4	4 23.5		2 0.5	40 19.0	3 30.0	76 9.8	78 26.8	12 30.0			
	251 37.9	361 32.6	6 14.0	5 29.4		201 45.4	48 22.9	2 20.0	300 38.7	59 20.3	2 5.0			
	20 3.0	136 12.3	1 2.3	4 23.5		12 2.7	8 3.8		100 12.9	34 11.7	2 5.0			
	240 36.2	264 23.9		2 11.8		222 50.1	18 8.6		243 31.4	18 6.2	3 7.5			
	663 100.0	1106 100.0	43 100.0	17 100.0		443 100.0	210 100.0	10 100.0	775 100.0	291 100.0	40 100.0			
	14 2.1	63 5.7	2 4.7	1 5.9		9 2.0	4 1.9	1 10.0	40 5.2	20 6.9	3 7.5			
	56 8.4	122 11.0	5 11.6	1 5.9		39 8.8	15 7.1	2 20.0	71 9.2	47 16.2	4 10.0			
	75 11.3	171 15.5	11 25.5	3 17.6		48 10.8	27 12.9		113 14.6	53 18.2	5 12.5			
同、使用日数（勤 0日（不使用） ～3日未満は除く）	207 31.2	339 30.7	15 34.9	5 29.4		136 30.7	65 31.0	6 60.0	245 31.6	84 28.9	10 25.0			
	211 31.8	244 22.1	15 34.9	4 23.5		128 28.9	82 39.0	1 10.0	168 21.7	62 21.3	14 35.0			
	72 10.9	91 8.2	1 2.3	2 11.8		59 13.3	13 6.2		75 9.7	15 5.2	1 2.5			
	28 4.2	76 6.9		1 5.9		24 5.4	4 1.9		63 8.1	10 3.4	3 7.5			
	808 100.0	1507 100.0	69 100.0	27 100.0		497 100.0	281 100.0	30 100.0	983 100.0	458 100.0	65 100.0			
	616 76.2	1342 89.1	66 95.7	18 66.7		497 100.0	115 40.9	4 13.3	983 100.0	355 77.5	4 6.2			
	150 18.6	84 5.6		4 14.8			139 49.5	11 36.7		80 17.5	4 6.2			
	42 5.2	81 5.4	3 4.3	5 18.5			27 9.6	15 50.0		23 5.0	57 87.7			
	671 100.0	1275 100.0	51 100.0	20 100.0		436 100.0	217 100.0	18 100.0	887 100.0	338 100.0	50 100.0			
	28 4.2	33 2.6	2 3.9	1 5.0		4 0.9	14 6.5	10 55.6	3 0.3	12 3.6	18 36.0			
2009年の年収（税 100万円未満 込み。ボーナスや 諸手当の全てを含 む。勤続1年未満 の者は除く）	81 12.1	120 9.4	3 5.9	3 15.0		4 0.9	72 33.2	5 27.8	23 2.6	73 21.6	24 48.0			
	86 12.8	203 15.9	17 33.3	3 15.0		13 3.0	73 33.6		74 8.3	126 37.3	3 6.0			
	44 6.6	273 21.4	16 31.4	4 20.0		14 3.2	29 13.4	1 5.6	184 20.7	86 25.4	3 6.0			
	47 7.0	192 15.1	8 15.7	1 5.0		38 8.7	8 3.7	1 5.6	171 19.3	21 6.2				
	54 8.0	207 16.2	3 5.9	4 20.0		48 11.0	6 2.8		198 22.3	9 2.7				
	53 7.9	134 10.5	1 2.0	2 10.0		49 11.2	4 1.8		126 14.2	7 2.1	1 2.0			
	278 41.4	113 8.9	1 2.0	2 10.0		266 61.0	11 5.1	1 5.6	108 12.2	4 1.2	1 2.0			
	29 1	27 9	43 1	35 0		4 8	73 3	83 3	11 3	62 4	90 0			
	35 6	49 3	74 5	55 0		8 0	86 6	88 9	32 0	87 9	96 0			
	42 6	64 4	90 2	60 0		16 7	90 3	94 4	51 3	94 1	96 0			
ア、仕事の内容・ やりがい	803 100.0	1499 100.0	67 100.0	26 100.0		486 100.0	288 100.0	29 100.0	976 100.0	457 100.0	65 100.0			
	250 31.1	518 34.6	23 34.3	4 15.4		150 30.9	91 31.6	9 31.0	349 35.8	142 31.1	27 41.5			
	264 32.9	495 33.0	27 40.3	13 50.0		173 35.6	81 28.1	10 31.0	328 33.6	147 32.2	20 30.8			
	233 29.0	381 25.4	12 17.9	7 26.9		132 27.2	92 31.9	9 31.0	234 24.0	131 28.7	15 23.1			
	40 5.0	88 5.9	1 1.5	2 7.7		23 4.7	16 5.6	1 3.4	55 5.6	31 6.8	2 3.1			
	16 2.0	17 1.1	4 6.0			8 1.6	8 2.8		10 1.0	6 1.3	1 1.5			
	113 14.1	127 8.5	10 14.9	3 11.5		85 17.5	19 6.6	9 31.0	83 8.5	25 5.5	19 29.2			
	125 15.6	182 12.1	10 14.9	4 15.4		92 18.9	29 10.1	4 13.8	124 12.7	40 8.8	18 27.7			
	261 32.5	366 24.4	18 26.9	7 26.9		179 36.8	74 25.7	8 27.6	229 23.5	115 25.2	21 32.3			
	185 23.0	463 30.9	14 20.9	9 34.6		93 19.1	85 29.5	7 24.1	297 30.4	162 35.4	4 6.2			
119 14.8	361 24.1	15 22.4	3 11.5		37 7.6	81 28.1	1 3.4	243 24.9	115 25.2	3 4.6				

	運営主体別										単位：人、%	
	公営（市町村営）					運営主体別						
	公営（市町村営）	社会福祉法人	学校法人	その他	正規	公営・雇用形態別	パート非正規	正規	社会福祉法人・雇用形態別	フル非正規	パート非正規	規
ウ. 労働時間・休日等の勤務体制	128 15.9 150 18.7 328 40.8 148 18.4	201 13.4 13.9 10 520 34.7 384 25.6	9 13.4 14.9 31 46.3 9 13.4 9	6 23.1 5 19.2 7 26.9 7 26.9	67 13.8 88 18.1 196 40.3 106 21.8	54 18.8 56 19.4 119 41.3 41 14.2	7 24.1 6 20.7 13 44.8 1 3.4	102 10.5 139 14.2 319 32.7 285 29.2	フル非正規	72 15.8 58 12.7 181 39.6 95 20.8	27 41.5 11 16.9 19 29.2 4 6.2	
エ. 職員の配置状況	49 6.1 72 9.0 101 12.6 294 36.6 216 26.9 120 14.9	186 12.4 220 14.7 198 13.2 583 38.9 356 23.7 142 9.5	9 13.4 14.9 9 13.2 7 26 38.8 14 20.9 8 11.9	3 11.5 3 11.5 7 26.9 9 34.6 5 19.2 2 7.7	23 6.2 34 7.0 57 11.7 151 31.1 150 30.9 94 19.3	18 6.3 34 11.8 41 14.2 130 45.1 60 20.8 23 8.0	2 6.9 4 13.8 3 10.3 13 44.8 6 20.7 3 10.3	131 13.4 129 13.2 115 11.8 380 38.9 258 26.4 94 9.6	フル非正規	51 11.2 73 16.0 67 14.7 183 40.0 83 20.4 41 9.0	4 6.2 18 27.7 16 24.6 19 29.2 5 7.7 7 10.8	
オ. 研修や教育訓練・能力開発のあり方	55 6.8 116 14.4 439 54.7 147 18.3 46 5.7	251 16.7 283 18.9 751 50.1 166 11.1 48 3.2	13 19.4 15 22.4 33 49.3 5 7.5 1 1.5	6 23.1 6 23.1 10 38.5 4 15.4 2 7.7	33 6.8 81 16.7 242 49.8 100 20.6 30 6.2	21 7.3 32 11.1 177 61.5 44 15.3 14 4.9	1 3.4 3 10.3 20 69.0 3 10.3 2 6.9	160 16.4 198 20.3 481 49.3 107 11.0 30 3.1	フル非正規	41 17.7 76 16.6 235 51.4 50 10.9 15 3.3	10 15.4 9 13.8 35 53.8 8 12.3 3 4.6	
カ. 職場の人間関係、コミュニケーション	124 15.4 178 22.2 343 42.7 111 13.8 47 5.9	313 20.9 422 28.2 524 35.0 162 10.8 78 5.2	23 34.3 14 20.9 21 31.3 7 10.4 2 3.0	5 19.2 8 30.8 10 38.5 3 11.5 3 11.5	64 13.2 117 24.1 209 43.0 65 13.4 31 6.4	54 18.8 58 20.1 123 42.7 39 13.5 14 4.9	6 20.7 3 10.3 11 37.9 7 24.1 2 6.9	185 19.0 283 29.0 346 35.5 116 11.9 46 4.7	フル非正規	107 23.4 124 27.1 155 33.9 42 9.2 29 6.3	21 32.3 14 21.5 23 35.4 4 6.2 3 4.6	
キ. 職業生活全体	87 10.8 182 22.7 395 49.2 122 15.2 17 2.1	220 14.7 340 22.7 695 46.4 195 13.0 49 3.3	13 19.4 24 33.8 22 32.8 7 10.4 1 1.5	3 11.5 9 34.6 10 38.5 4 15.4	46 9.5 123 25.3 236 48.6 71 14.6 10 2.1	37 12.8 54 18.8 144 50.0 48 16.7 5 1.7	4 13.8 5 17.2 15 51.7 3 10.3 2 6.9	130 13.3 224 23.0 457 46.8 132 13.5 33 3.4	フル非正規	70 15.3 102 22.3 212 46.8 58 12.7 15 3.3	20 30.8 14 21.5 25 38.5 5 7.7 1 1.5	
満足度D1（満足＋やや満足） （やや不満足＋不満足）	57.0 ▲ 8.2 10.1 ▲ 20.3 ▲ 2.7	60.6 ▲ 34.4 ▲ 10.7 ▲ 5.3 21.3	67.2 ▲ 13.4 3.0 ▲ 4.5 32.8	57.2 ▲ 19.2 11.5 11.5 30.8	60.1 9.7 4.1 ▲ 31.5 ▲ 3.3	51.4 ▲ 41.0 17.7 ▲ 2.8 ▲ 1.7	62.1 17.2 34.5 ▲ 6.9 ▲ 3.4	62.7 ▲ 34.1 ▲ 17.9 ▲ 11.1 22.6	フル非正規	55.1 ▲ 46.4 ▲ 3.5 ▲ 1.3 20.1	67.7 46.2 46.2 33.8 12.3	
満足度D2（満足＋やや満足） （やや不満足＋不満足）	17.9 16.2	33.0 21.1	41.8 43.3	38.5 30.8	17.5 18.1	20.5 13.2	0.0 13.8	31.4 19.4	フル非正規	35.0 21.7	43.1 43.1	

	運営主体別				公営・雇形態別				社会福祉法人・雇形態別				単位：人、%								
	公営（市町村営）		社会福祉法人		その他	正規	フル非正規		パート非正規	正規	フル非正規			パート非正規							
	公営	市町村	社会福祉法人	学校法人			フル非正規	パート非正規			フル非正規	パート非正規									
ア. 養育困難な保護者が増えている最近の保護者やその子どもにみられる課題（複数回答可）	811	100.0	1508	100.0	68	100.0	27	100.0	492	100.0	289	100.0	30	100.0	961	100.0	462	100.0	64	100.0	
	381	47.0	606	40.2	18	26.5	11	40.7	270	54.9	100	34.6	11	36.7	420	42.8	167	36.1	19	29.7	
	257	31.7	429	28.4	14	20.6	8	29.6	180	36.6	72	24.9	5	16.7	286	29.2	126	27.3	17	26.6	
	441	54.4	845	56.0	38	55.9	18	66.7	278	56.5	147	50.9	16	53.3	547	55.8	269	58.2	29	45.3	
	53	6.5	78	5.2	2	2.9	2	7.4	45	9.1	7	2.4	1	3.3	53	5.4	24	5.2	1	1.6	
	357	44.0	723	47.9	21	30.9	9	33.3	235	47.8	114	39.4	8	26.7	500	51.0	204	44.2	19	29.7	
	205	25.3	335	22.2	9	13.2	9	33.3	152	30.9	51	17.6	2	6.7	233	23.8	88	19.0	14	21.9	
	627	77.3	1088	72.1	45	66.2	14	51.9	393	79.9	215	74.4	19	63.3	730	74.4	317	68.6	41	64.1	
	811	100.0	1508	100.0	68	100.0	27	100.0	492	100.0	289	100.0	30	100.0	961	100.0	462	100.0	64	100.0	
	116	40.1									116	40.1	9	30.0		145	31.4		17	26.6	
イ. 正職員になれない・なるのが困難（複数回答可）											138	47.8	10	33.3		196	42.4		9	14.1	
											47	16.3				33	7.1		5	7.8	
	71	8.8	153	10.1	3	4.4	1	3.7	54	11.0	13	4.5	4	13.3	101	10.3	48	10.4	4	6.3	
	58	7.2	227	15.1	12	17.6	3	11.1	43	8.7	15	5.2			151	15.4	73	15.8	3	4.7	
	40	4.9	111	7.4	6	8.8	3	11.1	33	6.7	4	1.4	3	10.0	71	7.2	39	8.4	1	1.6	
	219	27.0	575	38.1	30	44.1	9	33.3	157	31.9	61	21.1	1	3.3	403	41.1	165	35.7	7	10.9	
	242	29.8	664	44.0	25	36.8	5	18.5	173	35.2	68	23.5	1	3.3	465	47.4	194	42.0	5	7.8	
	107	13.2	273	18.1	10	14.7	2	7.4	78	15.9	27	9.3	2	6.7	183	18.7	80	17.3	10	15.6	
	244	30.1	459	30.4	21	30.9	3	11.1	168	34.1	71	24.6	5	16.7	310	31.6	133	28.8	16	25.0	
	281	34.6	399	26.5	12	17.6	2	7.4	207	42.1	71	24.6	3	10.0	286	29.2	104	22.5	9	14.1	
シ. 結婚や出産を機にやめざるを得ない雰囲気がある	45	5.5	102	6.8	13	19.1			5	1.0	39	13.5	1	3.3	55	5.6	44	9.5	3	4.7	
	220	27.1	889	59.0	36	52.9	15	55.6	73	14.8	142	49.1	5	16.7	587	59.8	288	62.3	14	21.9	
											173	59.9	7	23.3		240	51.9		9	14.1	
	233	28.7	655	43.4	22	32.4	12	44.4	159	32.3	70	24.2	4	13.3	447	45.6	189	40.9	19	29.7	
	165	20.3	222	14.7	14	20.6	4	14.8	125	25.4	34	11.8	6	20.0	151	15.4	61	13.2	10	15.6	
	274	33.8	354	23.5	13	19.1	6	22.2	207	42.1	61	21.1	6	20.0	234	23.9	104	22.5	16	25.0	
	18	2.2	56	3.7	2	2.9			3	0.6	14	4.8	1	3.3	39	4.0	15	3.2	2	3.1	
	34	4.2	64	4.2	1	1.5			23	4.7	11	3.8			49	5.0	13	2.8	2	3.1	
	61	7.5	144	9.5	4	5.9	1	3.7	38	7.7	23	8.0			98	10.0	45	9.7	1	1.6	

	運営主体別				公営・雇用形態別			社会福祉法人・雇用形態別			単位：人、%	
	公営（市町村 営）	社会福祉法人	学校法人	その他	正規	フル非正規	パート非正 規	正規	フル非正規	パート非正 規		
ナ. 同僚との間の人間関係がうまくい かない	65	8.0	93	6.2	4	5.9	3	11.1	43	8.7	17	5.9
ニ. 保護者との信頼関係づくりが難し い	204	25.2	349	23.1	10	14.7	7	25.9	142	28.9	59	20.4
ス. 保護者からの苦情あるいは対応困 難な注文等が負担である	161	19.9	284	18.8	6	8.8	5	18.5	117	23.8	40	13.8
ホ. その他	5	0.6	24	1.6			1	3.7	4	0.8	1	0.3
ここ数年での保育 増している	778	100.0	1421	100.0	57	100.0	23	100.0	476	100.0	276	100.0
士との勤務負担の増 とくに変化はない	586	75.3	904	63.6	29	50.9	12	52.2	403	84.7	171	62.0
減 軽減されている	186	23.9	497	35.0	25	43.9	9	39.1	72	15.1	102	37.0
	6	0.8	20	1.4	3	5.3	2	8.7	1	0.2	3	1.1
職場での仕事に関 十分にある	799	100.0	1464	100.0	66	100.0	26	100.0	482	100.0	288	100.0
する悩み等の議 十分ではないがある	138	17.3	328	22.4	17	25.8	7	26.9	76	15.8	54	18.8
議・相談の機会 あまりない	492	61.6	818	55.9	35	53.0	15	57.7	308	63.9	170	59.0
まったくない	142	17.8	284	19.4	12	18.2	4	15.4	88	18.3	47	16.3
	27	3.4	34	2.3	2	3.0			10	2.1	17	5.9
離職・転職を考え よくある	795	100.0	1453	100.0	65	100.0	26	100.0	480	100.0	287	100.0
あることの有無 ある	78	9.8	192	13.2	9	13.8	3	11.5	46	9.6	30	10.5
たまにある	102	12.8	256	17.6	12	18.5	2	7.7	59	12.3	41	14.3
とくにない	298	37.5	489	33.7	23	35.4	9	34.6	172	35.8	116	40.4
	317	39.9	516	35.5	21	32.3	12	46.2	203	42.3	100	34.8
現行の保育士の配 まったく不十分である	794	100.0	1457	100.0	63	100.0	26	100.0	479	100.0	285	100.0
置基準に対する評 不十分である	269	33.9	402	27.6	13	20.6	9	34.6	204	42.6	59	20.7
値 とくに問題はない	389	49.0	746	51.2	34	54.0	11	42.3	229	47.8	146	51.2
よくわからない	104	13.1	258	17.7	12	19.0	6	23.1	34	7.1	64	22.5
	32	4.0	51	3.5	4	6.3			12	2.5	16	5.6
(再掲) 不十分である計	82.9		78.8		74.6		76.9		90.4		71.9	
									80.3		75.5	

	運営主体別				公営・雇用形態別				社会福祉法人・雇用形態別				単位：人、%							
	公営（市町村営）	社会福祉法人	学校法人	その他	正規	フル非正規	パート非正規	正規	フル非正規	パート非正規										
仕事による「身」や「心」の疲れ あまったり疲れない まったく疲れない どちらともいえない	798	100.0	1472	100.0	64	100.0	26	100.0	480	100.0	288	100.0	30	100.0	957	100.0	452	100.0	62	100.0
	278	34.8	478	32.5	16	25.0	8	30.8	187	39.0	87	30.2	4	13.3	341	35.6	124	27.4	13	21.0
	464	58.1	855	58.1	43	67.2	17	65.4	273	56.9	169	58.7	22	73.3	533	55.7	281	62.2	40	64.5
	47	5.9	111	7.5	4	6.3	1	3.8	15	3.1	29	10.1	3	10.0	63	6.6	40	8.8	8	12.9
	3	0.4	5	0.3					1	0.2	1	0.3	1	3.3	2	0.2	3	0.7		
	6	0.8	23	1.6	1	1.6			4	0.8	2	0.7			18	1.9	4	0.9	1	1.6
仕事による「神」や「心」の疲れ あまったり疲れない まったく疲れない どちらともいえない	798	100.0	1472	100.0	64	100.0	26	100.0	480	100.0	288	100.0	30	100.0	957	100.0	452	100.0	62	100.0
	343	43.0	547	37.2	19	29.7	10	38.5	238	49.6	101	35.1	4	13.3	391	40.9	149	33.0	7	11.3
	405	50.8	783	53.2	36	56.3	14	53.8	226	47.1	157	54.5	22	73.3	494	51.6	245	54.2	43	69.4
	45	5.6	120	8.2	8	12.5	2	7.7	13	2.7	29	10.1	3	10.0	57	6.0	52	11.5	11	17.7
	2	0.3	8	0.5					1	0.2	1	0.3	1	3.3	5	0.5	2	0.4	1	1.6
	3	0.4	14	1.0	1	1.6			2	0.4	1	0.3			10	1.0	4	0.9		
最近の疲労の回復状況	797	100.0	1470	100.0	66	100.0	26	100.0	480	100.0	287	100.0	30	100.0	956	100.0	451	100.0	62	100.0
	163	20.5	326	22.2	18	27.3	3	11.5	71	14.8	84	29.3	8	26.7	185	19.4	114	25.3	27	43.5
	322	40.4	621	42.2	27	40.9	10	38.5	195	40.6	114	39.7	13	43.3	409	42.8	195	43.2	16	25.8
	188	23.6	349	23.7	13	19.7	7	26.9	127	26.5	55	19.2	6	20.0	235	24.6	101	22.4	13	21.0
	124	15.6	174	11.8	8	12.1	6	23.1	87	18.1	34	11.8	3	10.0	127	13.3	41	9.1	6	9.7
(再掲) 疲労改善精群	39.1		35.6		31.8		50.0		44.6		31.0		30.0		37.9		31.5		30.6	
	805	100.0	1479	100.0	66	100.0	26	100.0	485	100.0	290	100.0	30	100.0	963	100.0	452	100.0	63	100.0
病状（医師から診断されたものの有無（複数回答可））	34	4.2	33	2.2			1	3.8	24	4.9	9	3.1	1	3.3	17	1.8	14	3.1	2	3.2
	59	7.3	29	2.0	3	4.5	1	3.8	44	9.1	13	4.5	2	6.7	18	1.9	10	2.2	1	1.6
	11	1.4	5	0.3			1	3.8	11	2.3					4	0.4	1	0.2		
	4	0.5	9	0.6	1	1.5			3	0.6	1	0.3			7	0.7	2	0.4		
	9	1.1	3	0.2					7	1.4	2	0.7			1	0.1	2	0.4		
	190	23.6	284	19.2	9	13.6	6	23.1	123	25.4	62	21.4	5	16.7	200	20.8	75	16.6	9	14.3
	70	8.7	49	3.3	5	7.6	3	11.5	52	10.7	17	5.9	1	3.3	29	3.0	17	3.8	3	4.8
	57	7.1	38	2.6	4	6.1	2	7.7	45	9.3	12	4.1			26	2.7	9	2.0	3	4.8
	115	14.3	172	11.6	7	10.6	4	15.4	80	16.5	32	11.0	3	10.0	104	10.8	59	13.1	8	12.7
	795	100.0	1457	100.0	65	100.0	26	100.0	479	100.0	286	100.0	30	100.0	948	100.0	445	100.0	63	100.0
	89	11.2	103	7.1	3	4.6	3	11.5	65	13.6	24	8.4			73	7.7	25	5.6	5	7.9
	406	51.1	629	43.2	29	44.6	12	46.2	272	56.8	118	41.3	16	53.3	444	46.8	165	37.1	20	31.7
	272	34.2	631	43.3	27	41.5	11	42.3	133	27.8	126	44.4	13	43.3	379	40.0	216	48.5	35	55.6
	28	3.5	94	6.5	6	9.2	7	9.2	39	7.9	18	6.3	1	3.3	52	5.5	39	8.8	3	4.8

資料3 保育士アンケート調査票

この調査は保育士を対象としたものです。回答の方法は、該当する丸数字に、原則として1つだけ○をつけてください。但し、複数回答可の設問もあります。お答えづらひ設問もありますが、分析は統計的な作業を行います。属性等の設問も個人を特定するものではありません。ご安心の上、ありのままをお答えください。

■はじめに、あなたの属性などについてお聞き致します

- 問1 性別は ①男性 ②女性
- 問2 年齢は () 歳
- 問3 お住まいは () 市町村名でお答えください
- 問4 あなたの世帯（一緒に暮らしているひと）の人数は、あなたを含めて何人ですか。
①1人（あなただけ） ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5人 ⑥6人 ⑦7人以上
- 問5 あなたの世帯の類型は次のどれですか。
①単身（あなただけ） ②親との同居 ③親と、あなたの兄弟姉妹
④配偶者との二人暮らし ⑤配偶者と子ども ⑥あなたと子どものみ
⑦その他 ()

■現在の保育園でのあなたの労働条件・処遇などについてお聞き致します。

- 問1 まずあなたの働く保育園（書面）のことについてお聞きします。
1) 運営主体は ①公営（市町村営） ②社会福祉法人 ③学校法人 ④その他 ()
2) 食園の、保育士の合計人数と、そのうち正規（正職員）の保育士は何人ですか。
合計は () 人で、そのうち正規の保育士は () 人
3) 2010年10月1日時点での、子どもの人数の「定員」超過状況を教えてください。
①定員割れ ②ほぼ定員どおり ③定員より () %程度の超過状況
- 問2 保育士（旧・保育母を含む）としてのあなたの経験年数をお聞きます。
1) 現在の保育園での勤務年数は（同一法人内での勤務は合計してください）
①3ヶ月未満 ②3～6ヶ月未満 ③6ヶ月～1年未満 ④1～3年未満
⑤3～5年未満 ⑥5～10年未満 ⑦10～15年未満 ⑧15～20年未満 ⑨20年以上
- 2) 他の保育園（認可外を含む）や、幼稚園あるいは児童養護施設・乳児院などでの経験も含む、
新労働年数の合計は
①3ヶ月未満 ②3～6ヶ月未満 ③6ヶ月～1年未満 ④1～3年未満
⑤3～5年未満 ⑥5～10年未満 ⑦10～15年未満 ⑧15～20年未満 ⑨20年以上
- 問3 あなたの雇用形態は次のどれですか。
①正職員 ②フルタイム（正職員と同じ勤務時間数）の非正規職員
③パートタイム（短時間勤務）の非正規職員

- 問4 現在、あなたは何歳児を担当していますか () 歳児の担当
- 問5 現在の主な仕事内容は ①クラス担当保育士 ②フリー保育士 ③その他 ()
- 問6 「非正規」職員の方のお聞きします。正職員の方は、問7へ進んでください。

- 1) 1回の雇用契約期間は ①1年ごとの更新 ②1年より短い期間ごとの更新 ③その他
- 2) 雇止め（契約更新されないこと）への不安はありますか。 ④まったく不安はない ⑤あまり不安はない ⑥非常に不安がある
- 3) 正職員への雇用転換を希望していますか ①希望している ②とくに希望していない

問7 労働時間についてお聞きします。

- 1) ふだんの勤務で、子どもや仕事から完全に離れて、所定の休憩時間をとることはできていますか。
①所定どおり取得できている ②所定どおりではないがまあ取得できている
③あまり取得できていない ④まったく取得できていない
- 2) 書類作成など、仕事を自宅に持ち帰って行うことはありますか。
①よくある ②ある ③たまにある ④ない
- 3) 書類作成なども含め、仕事をしても賃金が支払われない時間（いわゆるサービスマン残業）はありますか。「ある」という方は、1週間、合計でどのくらいの時間になりますか。
①ない ②ある → () 時間

問8 有給休暇は年間でどのくらい使えますか。昨年度の付与日数と実際の使用日数をお答えください。
() 日が付与され、そのうち () 日を実際に使用した

問9 賃金についてお聞きします。

- 1) あなたの賃金の支払い形態と金額をご記入ください。
①月給 ②日給月給（1日 円） ③時間給（1時間 円）
- 2) 税金等を差し引かれた、毎月の平均的な手取り額は（ボーナス・一時金は除きます）
() 万 () 千円

- 3) 昨年（2009年）の年収は（税込み、ボーナスや諸手当のすべてを含みます）
①100万円未満 ②～150万円未満 ③～200万円未満 ④～250万円未満
⑤～300万円未満 ⑥～350万円未満 ⑦～400万円未満 ⑧400万円以上

問10 現在の仕事の満足度についてお伺いします。①～⑦の各項目全てについて満足度の該当する番号を○で囲んで下さい。

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
①仕事の内容・やりがい	1	2	3	4	5
②賃金	1	2	3	4	5
③労働時間・休日などの勤務体制	1	2	3	4	5
④職員の配置状況	1	2	3	4	5

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足
⑤研修や教育訓練・能力開発のあり方	1	2	3	4	5
⑥職場の人間関係、ミスマッチ	1	2	3	4	5
⑦職業生活全体	1	2	3	4	5

■現在の職場の状況や仕事上の負担、仕事に関する満足度や悩みなどについてお聞きします。

- 問1 最近の保護者やその子どもにみられる状況について、あてはまる全てに○をつけてください
- ア、養育困難な保護者が増えている イ、保護者の間に就労不安定・低所得という問題がみられる
- ウ、一人親世帯が増えている エ、子どもの貧困の問題が生じている
- オ、育児不安や育児ストレスに悩む保護者が増えている
- カ、虐待・ネグレクトのケース（疑わしいケースも含む）が増えている
- キ、アレルギ－児・薄がいの児など特別のケアが必要な子どもが増えている
- 問2 労働条件・仕事の負担に関する以下のような悩み・不安・不満等はありませんか。あてはまる全てに○をつけてください。
- ア、雇用契約が更新されないことへの不安がある イ、正職員になれない・なるのが困難
- ウ、就労期間・年数に上限が設けられている エ、勤務が不規則である オ、拘束・労働時間が長い
- カ、休日出勤がある キ、休憩がとりにくい・とれない ク、有給休暇がとりにくい
- ケ、体調が悪くても休めない コ、人手不足や時間が足りずに適切な保育が困難だったり負担が大きい
- サ、特別なケアが必要な子どもへの保育負担が大きい
- シ、結婚や出産を機にやめざるを得ない雰囲気がある
- ス、仕事内容のわりに賃金水準が低い セ、正規職員と同じ仕事をしているのに処遇の格差が大きい
- ソ、保育という仕事に対する社会的評価が低い タ、保育の環境・施設のハード面で支障がある
- チ、体力や健康面に不安がある ツ、仕事上の怪我への補償がない
- テ、上司からのセクハラやパワハラがある ト、上司との人間関係がうまくいかない
- ナ、同僚との間の人間関係がうまくいかない ニ、保護者との信頼関係づくりが難しい
- ヌ、保護者からの苦情あるいは対応困難な注文等が負担である ネ、その他

【以上の仕事の悩みや不満等について具体的に】

- 問3 ここ数年のあいだで、保育士の勤務負担は増していますか、それとも軽減されていますか。
- ①増している ②とくに変化はない ③軽減されている
- 問4 職場では、仕事に関する悩み等を職員同士で話し合ったり上司に相談する機会は十分にありますか。
- ①十分に ②十分ではないがある ③あまりない ④まったくない
- 問5 いまの職場・施設をやめる、あるいは、保育の仕事からの転職を考えることはありますか。
- ①よくある ②ある ③たまにある ④とくにない
- 問6 ところで、現行の保育士の配置基準（例 0歳児は3：1／4、5歳児は30：1など）について、どう評価していますか。
- ①まったく不十分である ②不十分である ③とくに問題はない ④よくわからない
- あなたの健康状態などについてお聞き致します。
- 問1 仕事による疲労の状況について、それぞれお答えください。
- 1) あなたは普段の仕事でどの程度「身体」が疲れますか。
- ①とても疲れる ②やや疲れる ③あまり疲れない ④まったく疲れない ⑤どちらともいえない
- 2) あなたは普段の仕事でどの程度「神経」が疲れますか。
- ①とても疲れる ②やや疲れる ③あまり疲れない ④まったく疲れない ⑤どちらともいえない
- 問2 あなたの最近の疲労の回復状況は次のどれにあたりますか。
- ①1晩睡眠をとればたいい疲労は回復する ②翌朝に前日の疲労を持ちこすことがときどきある
- ③翌朝に前日の疲労を持ちこすことがよくある ④翌朝に前日の疲労をいつも持ちこしている
- 問3 あなたは現在持病（医師から診断されたもの）がありますか。「ある」場合は、該当するもの全てに○をつけてください。
- ア、胃腸病 イ、高血圧 ウ、肝臓病 エ、心臓病 オ、糖尿病 カ、腰痛 キ、老眼
- ク、高脂血症（高コレステロール血症等） ケ、その他（_____）
- 問4 健康や体力面で不安はありませんか。
- ①非常に不安がある ②不安がある ③あまり不安はない ④まったく不安はない
- 最後に、仕事・生活・健康上の悩みや、要望などをご自由にお書きください。

ご協力、本当に有難うございました。